

# リアホナ

**天の御父の計画  
における結婚,  
16-33ページ**

総大会はあなたのために  
あります, 4, 14ページ

「成長するわたし」と  
「神への務め」による祝福,  
46-57ページ

日曜のディナーの  
霊的なごちそう, 66ページ



「神殿にいらっしゃる 12 歳のイエス」  
カール・ヘンリック・ブロック画

「〔ヨセフとマリヤは〕イエスが宮の中で教師たちのまん中にすわって、彼らの話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。

聞く人はみな、イエスの賢さやその答に驚嘆していた。

両親はこれを見て驚き、そして母が彼に言った、『……ごらんなさい、おとう様もわたしも心配して、あなたを捜していたのです。』

するとイエスは言われた、『どうしてお捜しになったのですか。わたしが自分の父の家にいるはずのことを、ご存じなかったのですか。』（ルカ 2:46-49。ジョセフ・スミス訳ルカ 2:46 参照）

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——  
総大会——特別な祝福  
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——  
靈性を高めることによって  
家族を強める

特集

- 14 わたしのための総大会  
アン・シングルトン  
始めから終わりまで慰められ、  
聴衆は自分一人であるかのように  
感じたのです。
- 22 地上の小さな天国  
ロバート・D・ヘイルズ長老  
神殿結婚は一つの場所で執り行  
われるものですが、日の栄えの  
結婚は一生を通じて築かれるもの  
です。
- 28 神様がわたしたちを  
祝福できるように  
マイケル・R・モリス  
アルゼンチンのヤングアダルトの  
経験から、従順であるということ  
は天の御父にわたしたちを祝福す  
る機会を差し上げることであり、  
御父は必ず祝福して下さること  
が分かります。
- 34 扶助協会の歴史——  
娘たちに対する主の展望  
ジュリー・B・ベック  
扶助協会の歴史を学ぶことを通  
して、姉妹たちは天の御父の計  
画の中で自分たちに非常に重  
要な役割が与えられていること  
を知ります。

表紙  
フォトイラストレーション/ロバート・ケーシー

シリーズ

- 8 小さな、簡単なこと
- 10 教会での奉仕——  
教会での奉仕を通して資格を得る  
アリス・A・ルイス
- 12 キリストについて語る——  
困難なときに平安を見いだす  
ペア・G・マーム長老
- 16 わたしたちが信じていること——  
結び固めの儀式  
家族を永遠につなぐ
- 18 福音クラシック——  
永遠に続く結婚  
N・エルドン・タナー管長

- 20 わたしたちの家庭、  
わたしたちの家族——  
永遠の結婚を築く  
ロサナ・ポンテス・バルボーサ・ネベス
- 38 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——  
今も永遠にも続く神殿の祝福  
ステーション・ビッカリー



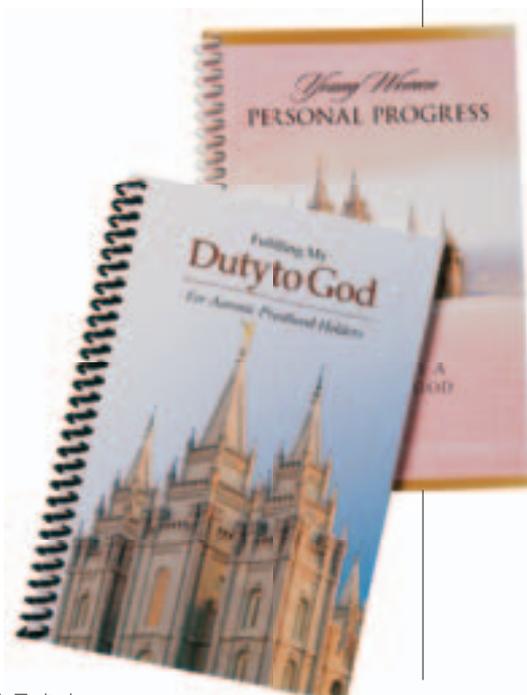


42

42 奉仕する勇氣

伝道に出る準備をしていますか？  
良い選択をしようとするとき、わたしたちはしばしば壁にぶつかります。このヤングアダルトたちはそのような壁をどのようにして乗り越えたのでしょうか。

こんげつごう なか  
今月号の中に  
かく隠れているリアホナを  
さがし探しましょう。  
ヒント——ペルー



46 わたしたち家族の「成長するわたし」

ヒラリー・スローター、  
エリッサ・J・カーカム

「成長するわたし」は、普通は「個人」で行うものですが、ウクライナの二人の若い女性は家族も巻き込みました。

49 一つの言葉と生涯の教訓

ヘザー・リグリ

その言葉を口にしたとき、なぜ良い気分にならなかったのでしょうか。その答えは、高潔さという徳質でした。

50 わたしは神の子供でしょうか

パレリー・シエンク

証を得ることは、自分が神から受け継いでいる特質を理解することでもありました。

52 学び、行い、分かち合う

アダム・C・オルソン

「神への務め」と日本の武術の共通点は何でしょうか。それは3つの簡潔な言葉で表されます。

54 お父さんと取り組む「神への務め」

ポール・バンテンバーグ

思ったよりも身近なところから助けが得られるかもしれません。

55 定員会への電話

マーク・テンスマイヤー

祭司定員会の兄弟たちとそれほど親しくありませんでしたが、助けが必要だったのでとにかく連絡してみました。

56 さらに大きな目標

ネレイダ・サンタフェ・デ・サリナス

一致、活発化、友情は、わたしたちのさらに大きな目標でした。試合を楽しむのはおまけでした。

68



58 家族を強める人になる

だれにでも複数の家族があります。あなたはどの家族にも手助けをすることができます。

60 死者のためのバプテスマを受ける準備

エリッサ・J・カーカム

神殿に入る前、神殿に入る当日、そして神殿に入っている間に、できること。

61 福音がもたらす幸福

カルロス・A・ゴドイ長老

末日聖徒になったときに、どうして彼らがとても幸せそうなのか分かりました。

62 わたしたちのページ

63 すばらしい 考え

64 しょうきょうかいを かけていても

——ふくいんは ぜんせかいにのべつたえられます

アナ・マリア・コパン、  
クリスティーナ・フランコ

66 ディナーゲーム

ルネ・ライディング

せいいく 当てゲームが 日曜日の新しい しゅうかんに なりました。

68 イエス様のお話——

人にどのように接するべきかを教えられたイエス様

ダイアン・L・マンガム

70 ちいさな おともだちへ

リアホナ 2011年9月号

第13巻9号 (09689 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会公式国際機関誌 (日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バッカー, L・トム・ペリー, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ペドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: ボール・B・パイパー

顧問: スタンレー・G・エリス, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, 菊地良彦

実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニクト

編集ディレクター: ピンセント・A・ボーン

グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーク

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: スーザン・パレット, ライアン・カー

編集スタッフ: フリタニー・ピーティエ, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリット, ラリーン・ポーター, ガントラ, ラリー・ヒラー, キャリー・カステン, ジェニファー・マディー, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・ファルス, ジェン・ピンボロー, ジャネット・トーマス, ボール・ハンデンバーグ, メリッサ・ゼンテノ

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

主任デザイナー: C・キンボール・ポット, トーマス・S・チャイルド, コリン・シンクレア, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ

制作スタッフ: コレット・ネベカー, オース, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデット, レジナルド・J・クリステンセン, キム・フェンスタマー, カル, キャスリーン・ハワード, デニス・カービン, ギニー・J・ニルソン  
製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレーグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: ヘンリー・W・サブストロー

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会  
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30  
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 1,000円 (送料共)  
普通号/大会号 150円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は下記の連絡先にお送りください。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,  
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA  
電子メール: [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org)

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリシヤ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語 (発行頻度は言語により異なります。)

©2011 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — [cor-intellectualproperty@ldschurch.org](mailto:cor-intellectualproperty@ldschurch.org) にご連絡ください。

**For Readers in the United States and Canada:**

September 2011 Vol. 35 No. 9. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

# インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]

## 青少年



今月号の青少年に記事は「成長するわたし」や「神への務め」に取り組む若人にとって有益です。PersonalProgress.Lds.org や DutyToGod.Lds.org [英語] にアクセスするとオンラインで「成長するわたし」や「神への務め」を使うことができます。

### あなたの言語で

[www.languages.lds.org](http://www.languages.lds.org) で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

### 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

あがな  
贖い, 12

イエス・キリスト, 12, 68

改宗・改心, 61

家族, 7, 8, 16, 46, 54, 58, 80

家族歴史, 38

活発化, 56

神の特質, 50

神への務め, 52, 54

儀式, 16

希望, 12

教会の召し, 10

啓示, 4, 7

結婚, 18, 20, 22, 28, 40

高潔, 49

言葉, 49

死者のためのバプテスマ, 60

自分の一, 41

神権, 16, 54, 55, 56

神殿, 9, 16, 28, 40, 46, 60, 63, 80

「成長するわたし」, 46

聖文, 50, 66

総大会, 4, 14

伝道活動, 39, 42, 64, 70

扶助協会, 7, 34

平和, 12

奉仕, 10, 34, 55, 68

預言者, 4

大管長会第二顧問  
ディーター・F・  
ウークトドルフ管長



# 総大会—— 特別な祝福

**あ**る立派な教会員が教会員ではない隣人と話をしていました。総大会の話になったとき、隣人が次のように尋ねました。「預言者や使徒がいるというのですか。そして年に2度、世界的規模の大会でその人たちが神の言葉を明らかにするわけですか。」

「そのとおりです」と、会員は胸を張って答えました。

隣人は少しの間そのことについて考えました。純粋に興味があるようです。そして次のように尋ねました。「前回の総大会で、その人たちはどんなことを言っていましたか。」

このとき、胸を躍らせながら福音を紹介していたこの善良な会員の喜びは、恥ずかしい思いに変わりました。どんなに努力しても、詳しく思い出せる話の一つもないのです。

友人は会員の様子に困惑して言いました。「今の時代に神が人に語られると言いながら、神が語られたことを思い出せないのですか。」

このやり取りを通して、その兄弟は謙虚になりました。そして、総大会で主の僕たちが語る言葉をもっとしっかり覚えておこうと心に誓ったのです。

総大会のメッセージを一つ残らず覚えておくことがいかに難しいかはだれもが知っていますし、すべてを覚えていなくても恥じる必要はないと思います。しかし、どの総大会においても、天からの贈り物として、また祝福として、特に自分が置かれている状況に対して与えられるメッセージがあります。

総大会に向けて、主の僕たちが語る言葉をよりしっかりと受け止め、覚え、実践するうえで役立つ3つの基本的な概念を紹介しましょう。

## 1. 教会員には、総大会で語られる靈感に満ちた言葉に耳を傾け、それらを研究する際に個人の啓示を受ける権利が与えられています。

総大会に向けて準備するとき、自分が答えを必要としている質問について深く考えるようにお勧めします。例えば、直面している難題に関して主の指示や導きを切に望んでいる人もいるでしょう。

特定の祈りへの答えが、特定の話によって、あるいは具体的な言葉によって直接与えられることがあります。また、関連がないように思われる言葉や歌を通して与えられることもあるでしょう。人生で受けている祝福への感謝と、勧告の言葉を聞いてそれに従いたいという真剣な望みで心を満たすとき、個人の啓示への道が備えられます。

## 2. 前にも聞いたことがあるというだけの理由でメッセージを軽視してはいけません。

預言者はいつでも繰り返すことによって教えてきました。それは学びの法則なのです。総大会では同じテーマや教義を繰り返し聞くことでしょう。しかし断言しますが、これは独創力や想像力に欠けているためではありません。同じ

ような事柄についてのメッセージが繰り返されるのは、主が特定の基本的な原則を教え、わたしたちの思いと心に刻み付けようとしておられるからです。それらは永遠の観点から見て重要な原則であって、ほかの事柄に進むためには、まずそれらの原則を理解し、実行しなければならないのです。賢く家を建てる人は、壁や屋根を作る前にまず基礎を据えます。

### 3. 総大会で語られる言葉は、それからの数か月間におけるわたしたちの進路を示すコンパスとなるはずのものです。

もしわたしたちが御<sup>みなま</sup>霊のささやきに耳を傾けて従うなら、それらはリアホナとなって、行く手に待ち受けている未知の険しい山や谷を越えられるようにわたしたちを導いてくれるでしょう（1ニーファイ 16 章参照）。

世の初めから、神は天の御<sup>みこころ</sup>心<sup>こころ</sup>をその時代の人々に語る預言者をお立てになってきました。わたしたちには主が与えてくださるメッセージに耳を傾け、それらを実践する責任があります。

憐<sup>あわ</sup>れみ深く愛にあふれたわたしたちの天の御父はその子供たちをお見捨てになったことがなく、これからもお見捨てになることはありません。今日<sup>こんにち</sup>、過去の時代と同じように、御父は使徒と預言者を任じておられます。そして彼らに、引き続き御自分の言葉を明らかにしておられます。

総大会の間にわたしたち一人一人に向けられた神のメッセージを聞くのは、何と驚くべき特権でしょうか。神の選ばれた僕たちを通して神の導きを受けるといふ、この大きな祝福に向けてよく準備しましょう。

これは特別な祝福だからです。■



#### このメッセージから教える

- 記事と一緒に読んでください。総大会の間に学ぼうと思うことを家族に挙げてもらいます。
- 幼い子供がウークトドルフ管長の勧めを實踐できるように、中央幹部の表を見せます（『リアホナ』総大会特集号に掲載されています）。総大会で大管長会と十二使徒定員会の会員たちが話をすることを伝えます。総大会の話に耳を傾け、学んだことを覚えておくために絵を描くよう子供たちに勧めます。両親は、子供のための総大会の活動が掲載されている [conferencegames.lds.org](http://conferencegames.lds.org) を利用するとよいでしょう。



## 良いこと、より良いこと、最も良いこと

メアリー・セレスト・ルイス

**20**07年10月の総大会での説教で、十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老が「良い、より良い、最も良い」活動について話しました。オクス長老が「子供の過密スケ

ジュール」について話し始めたとき、わたしは罪悪感を覚え、落ち着かない気分で席に座っていました。

わたしは自分がいろいろやりすぎていることに気づきました。学校の演劇に参加し、難しい授業を取り、そのほかにも幾つかの活動に携わっていました。若い女性の活動にはきちんと出席しておらず、日曜日には宿題を直前に終わらせようとするところから来るストレスでいっぱいでした。音楽の練習と学校新聞の編集はもはや楽しみではなく仕事になっていました。

オクス長老の説教をきっかけに、自分のスケジュールを見詰め直しました。携わっていた活動は良いことでしたが、あまりに多すぎました。最も良いことを選ぶ必要がありました。どの活動をやめるか決めようとする中で、イエス・キリストの福音こそ、だれもが優先事項に挙げることのできる最も良いことであることを悟りました。そこで祈りと聖文研究を何より優先するようにしたところ、それからは物事が前よりも順調に運ぶようになりました。

オクス長老は、主が望んでおられることを**第一**に行うなら、すべてがうまくいくことを教えてくださいました。ゲームをする前に、さらには宿題をするよりも前にまず聖文を研究するなら、重要なことをすべて終わらせるのです。主にかかわる事柄を後から付け加えるのではなく、主を中心として生活するとき、より平安で実りある日々を送ることができるようになりました。

今では総大会で与えられる勧告にとっても注意深く耳を傾けるようになりました。

## こども

わたしは **そう大会で 答えを見つめることができます**

**ウ**ークトドルフかんちょうは、**そう大会の 前に** **しつもんを** **考えておけば、** **そう大会の 間に** **しゅが** **よげんしゃや** **しとを** **通して** **あなたに** **語ってくださると** **教えています。**

1. かぞくや クラスで、自分たちが **どんなことについて** **学ぶ** **ひつようが** **あるか** **話し合います。** **みんな** **で** **同じ** **しつもん** **にしても、** **それぞれ** **ちがう** **しつもん** **にしても** **かまいません。** **(れい——あかしを** **強めるには** **どうすれば** **よいでしょうか。** **学校で** **こまったこと** **があるとき、** **どうすれば** **よいでしょうか。)**

**かんが** **考えた** **しつもんを** **かみ** **紙か** **にっ き** **日記に** **か** **書きます。**

2. **そう大会** **までの** **数週間、** **これらの** **しつもん** **について** **かんが** **考え、** **いのり** **しましょう。**

3. **そう大会** **の** **間、** **ちゅういぶ** **かく** **耳を** **かたむ** **けます** **(メモを** **とると** **よい** **でしょう)。** **その後、** **あなた** **の** **しつもん** **について** **しゅが** **教会** **の** **しどう** **しゃを** **通して** **こた** **えて** **くださ** **った** **こと** **を** **か** **書** **き** **ま** **す。**

4. **べつ** **の** **紙** **に、** **学** **んだ** **こと** **を** **あなた** **が** **行** **っ** **て** **い** **る** **絵** **を** **か** **き** **ま** **し** **よ** **う。**



信仰・家族・扶助

## 霊性を高めることによって 家族を強める

この資料を学び、  
必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。  
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、  
あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

**中**央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹は次のように述べています。「わたしの中には、神の娘は貴い存在であるという力強い証<sup>あかし</sup>が育っています。……今ほど信仰と個人の義を増し加える必要に迫られている時代はかつてなかったと感じてきました。今ほど強く結ばれた家族、堅固な家庭が必要とされる時代はありません。」

個人の啓示に従って行動するとき、姉妹たちは堅固な家庭と家族を築く手助けができます。ベック姉妹は続けて次のように述べています。「個人の啓示を受けるにふさわしくなり、個人の啓示を受けてそれに従うという能力は、この人生で身に付けられる技術の中で最も大切なものです。主の御霊<sup>みたま</sup>を受けるにふさわしくなるには、まず、御霊を受けたいという望みを持つことから始まり、ある程度のふさわしさが必要になります。戒めを守り、悔い改め、バプテスマのときに交わした約束を新たにすることによって、いつも御子の御霊を受けるといふ祝福を得ることができます。神殿の聖約を交わし、それを守ることによって、霊的な強さと力が女性の生活に増し加えられます。聖文を読むことによって難しい疑問の答えがたくさん見つかります。なぜなら、聖文は啓示を促すものだからです。……日々の祈りも、主の御霊を受けるために欠かせません。」<sup>1</sup>

また、家族が天の御父の永遠の計画を理解できるよう助けるとき、家族を霊的に強めることができます。「子供が自分の永遠の責任を果たすことができるように霊的な備えをさせるために、わたしたちは何をしたらよいでしょうか」と、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は問いかけています。「最も包括的な答えは、福音の原則にどのように従って生活すればよいかを教える、ということでしょう。」それを学ぶ機会として、毎週の家庭の夕べや教会への出席はもちろんのこと、日々の祈りや聖文研究、家族での食事の時間があります。バラード長老は次のように説明しています。「わたしたちは毎日、その一瞬一瞬を永遠の命のために準備しているのです。永遠の命のために備えていなければ、それよりずっと劣るもののために準備をしていることになります。」<sup>2</sup>

### 何ができる でしょうか？

**1.** 担当の姉妹たちが霊的な自立の度合いを高められるように、どのような助けができるでしょうか。

**2.** 聖なる御霊<sup>みたま</sup>の導きに気づいて応じる能力を高めるにはどうすればよいでしょうか。

### 聖文から

箴言 22 : 6 ;

1ヨハネ 3 : 22 ;

教義と聖約

11 : 13 - 14 ;

19 : 38 ; 68 : 25

詳しくは  
[www.reliefsociety.lds.org](http://www.reliefsociety.lds.org) [英語] を  
ご覧ください。

### わたしたちの歴史から

1842年4月、預言者ジョセフ・スミスは扶助協会の集会で、姉妹たちには自分自身の救いを追い求める厳粛な義務があると教えました。ジョセフは次のように述べています。「〔わたしの〕教えを受けた後、皆さんは自分自身の罪に対して責任を負うことになります。天の御父の前をふさわしく歩み、その結果自分自身を救うのは、好ましく誉れあることです。わたしたちは皆、自分自身を救えるように主から与えられている光と知恵をどのように増やすかについて、神に責任を負っています。」<sup>3</sup> ジョセフは姉妹たちに、義にかなった者であるように、聖なる民となるように、そして神殿の儀式と聖約に備えるように教えました。

### 注

1. ジュリー・B・ベック「その日わたしはわが霊をはしために注ぐ」『リアホナ』2010年5月号、10 - 11
2. M・ラッセル・バラード「霊の成長」『聖徒の道』1979年2月号、109、110
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』354 - 355



# 小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」  
(アルマ 37:6)

## 世界各地の教会歴史



### シエラレオネ

**19**81年、シエラレオネ出身のマイケル・サムラがオランダで福音を聞き、バプテスマを受けました。シエラレオネの首都フリータウンに戻ったサムラ兄弟は宣教師の派遣を要請しましたが、教会ではこの国に宣教師を遣わす用意が整っていなかったため、教会の出版物だけが送られてきました。サムラ兄弟はほかの人々に福音を教え、非公式な集会を開き始めました。以前にほかの国々でバプテスマを受け、シエラレオネに戻っていた会員たちも同じように行いました。

1988年はこの国にとって節目の年となりました。1月、ドイツでバプテスマを受けていた会員の管理の下で、最初の公式の集会が開かれました。5月には2組の夫婦宣教師が到着し、6月にはこの国で初めてバプテスマが執行され、14人がバプテスマを受けました。8月には、最初の支部であるゴドリッチ支部が設立されました。2004年、シエラレオネで最初の末日聖徒の集会所の<sup>くわ</sup>入れ式が行われました。



シエラレオネの教会	
会員数	8,907
伝道部数	1
地方部数	2
支部数	23

## 健全な家族活動

**定**期的に健全な活動を一緒に行う家族は、より大きな愛と調和を感じることができます。家族の活動は両親が子供たちと福音を話し合う機会を提供し、多くの子供たちは両親を身近に感じるとき、もっと喜んで両親の言うことを聞き、従いたいと思うようになります。

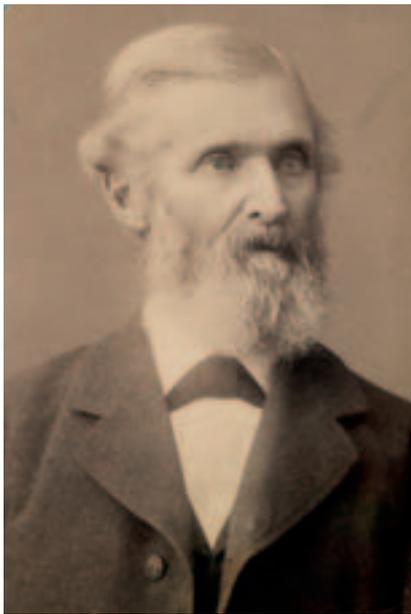
健全な家族活動には次のようなものがあります。

- **家庭の夕べ**——ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910—2008年）は次のように語っています。「父親と母親が子供たちとともに座して、一緒に祈り、主の道について教え、家族の課題について考え、子供に才能を発表する機会を与えるのはとても重要なことです。」<sup>1</sup>
- **家族の奉仕活動**——ワードの年若い教会員を訪問したり、近所のごみ拾いをしたりすることができます。
- **お父さんやお母さんとの1対1のお出かけ**——こういった活動は子供たちが両親と個別に親密な関係を築く助けとなります。

### 注

1. ゴードン・B・ヒンクレー「神権を持つ男性たちへ」『リアホナ』2002年11月号、58

## トルーマン・O・エンジェル



トルーマン・O・エンジェル（1810 - 1887年）は、ソルトレーク神殿をはじめとする数々の重要な建物を設計し、監督しながら教会の建築家として何十年も奉仕をしました。教会で奉仕している間、トルーマンは従順で謙遜でした。

トルーマンは1810年6月5日にアメリカ合衆国ロードアイランド州、プロビデンスに生まれました。10代のころ、地元の職人から大工、木工建具、また特殊な木細工を教わりました。

22歳のときに姉から教会を紹介され、宣教師のトーマス・B・マーシュからモルモン書を受け取りました。1833年1月、トルーマンは母親フィービー、妻ポリーとともにバプテスマを受けました。

トルーマンが七十人第二定員会会員に聖任されたすぐ後で、ジョセフ・スミスはオハイオ州カートランドに店を建築するよう依頼しました。トルーマンは伝道に行く準備をしていると預言者に伝えてその要請を断りました。しかし翌日、トルーマンは遠くに大管長会を見たとき、預言者から依頼された

建築の責任を引き受けるようにという促しを感じました。後にそのときのことをこのように記録しています。「したがって、わたしは決意直して、従順になったのです。」<sup>1</sup>

1856年、プリガム・ヤング大管長は、トルーマンをヨーロッパの伝道部に送りました。その際に、「資質を高めて、引き続き」ソルトレーク神殿やほかの建築物の建設に携われるようにと、「貴重な建築作品のスケッチを描く」指示を彼に与えました。<sup>2</sup>

トルーマンは1867年に教会建築家として召されました（教会はもはや公式に教会建築家を召すことはありません）。何年にもわたる厳しい労働によりトルーマンは健康を損なっていましたが、へりくだってその召しを受けました。彼は日記に次のように書いています。「わたしは相当疲れているが、もし大管長や兄弟たちが衰れなちりの虫のようなわたしを教会の建築家として支持すべきであると感じるなら、一生懸命に召しを

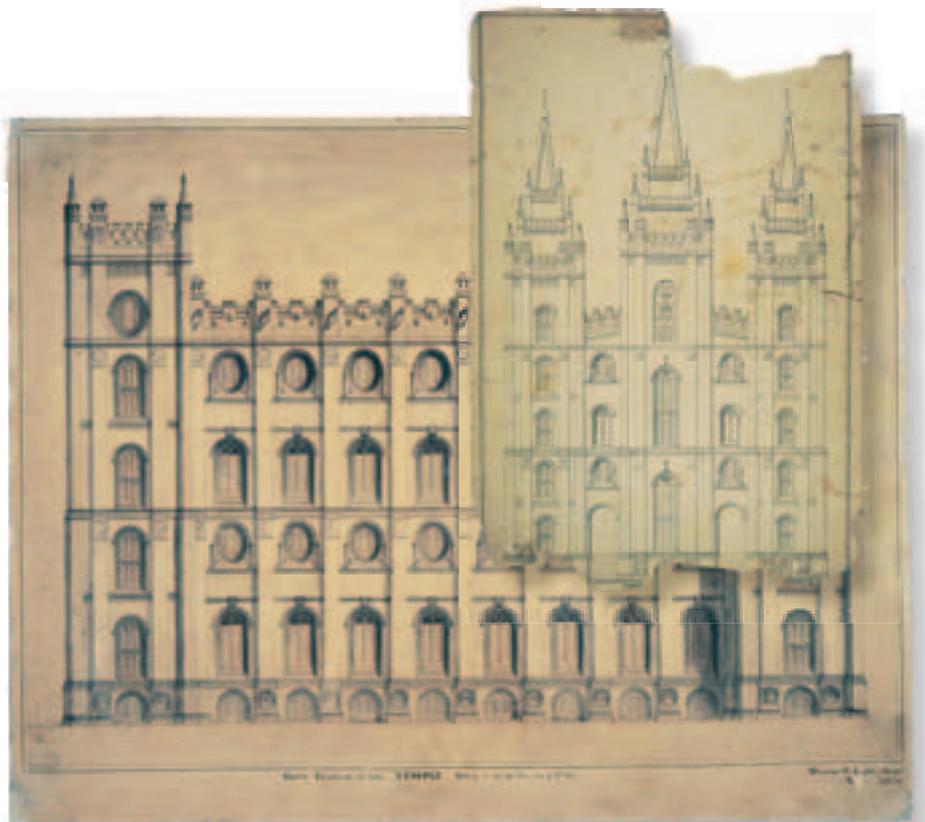
果たし、自分自身に恥じない働きをしよう。……そうできるように主がわたしを助けてくださることを願う。」<sup>3</sup>

トルーマンはライオンハウス、ビーハイブハウス、ユタ準州議会議事堂、ユタ州セントジョージ神殿など、ユタ州の多くの建築事業を監督しました。

トルーマンは1893年のソルトレーク神殿の奉献を見ることはありませんでしたが、1887年に亡くなるまで教会建築家として忠実にその召しを果たしました。■

## 注

1. トルーマン・O・エンジェル、ケート・B・カーター、*Our Pioneer Heritage* 全20巻（1958 - 1977年）、第10巻、197
2. カーター、*Our Pioneer Heritage* 第10巻、204
3. ポール・L・アンダーソン “Truman O. Angell: Architect and Saint,” で引用、*Supporting Saints: Life Stories of Nineteenth-Century Mormons*、ドナルド・Q・キャノン、デビッド・J・ホイットカー共編（1985年）、161に収録。つづりは標準的な用法に修正



# 教会での奉仕を通して 資格を得る

アリス・A・ルイス

『手引き 第2部——教会の管理運営』には次のように明言されています。  
「教会員は自分自身の霊的・物質的な福利に関して責任がある。  
それぞれに選択の自由という賜物<sup>たまもの</sup>が与えられているので、  
自分の進むべき道を決め、自分自身の問題を解決し、  
自立できるように努力する特権と義務がある。  
会員はこれらのことを主の靈感の下に、自らの手の労苦をもって行う。」  
(〔2010年〕6.1.1.)

**わ**たしは離婚したばかりの57歳で、外に出て働いた経験がほとんどありませんでしたが、どうしても仕事が必要でした。4人の子供を育て上げましたが、32年間の結婚生活が終わり、独りになりました。わたしには昔受けたわずかな大学教育がありましたが、この年になってから仕事を見つけないといけないということに大きな不安がありました。

郡の図書館管轄区でスケジュール・著作物管理スペシャリストの職を得るために面接を受けようと座って待っていましたが、そのような職を得る資格が自分にあると思うなんて気がどうかしているに違いないと思っていました。立ち上がって家に帰ろうと思ったとき、会議室で面接の準備が整ったと急に秘書から告げられました。悲観的な気持ちになったのですが、身体をしゃんとさせ、静かにお祈りし、前に進み出しました。

滑舌のよい専門職の二人が、この仕事には特定分野の経験が不可欠であると言ひ、わたしの経験について質問し始めました。この仕事には、披露、招待、配膳業、そして片付けなど大きな会議の準備ができる人が必要でした。わたしには必要とされる経験があったでしょうか。そのような経験はないと思いましたが、突然心の中にステーキ扶助協会の大会の様子が思い浮かびました。わたしはステーキの扶助教会会長会の顧問だったことがあったのです。そのときの経験から、わたしは大勢が集まる集会を整え、大勢の人々のために大量の食物を購入する方法を学んでいました。わたしはその仕事に必要なとされる経験があると正直に答えることができました。

面接は続きました。「あなたはコンピューターを使いこなせますか。利用者者と通信しながら会議室の利用スケジュールを管理する必要があります。」わたしがワード広報やカレンダー、ま

たステーキのニュースレターを作成できるように、コンピューターの使い方を教えてくれたすべての人々に感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。「はい、わたしはコンピューターを使いこなせます。」

「一般向けにプログラムを作成したり、クラスを提供したりしなければなりません、子供や大人向けのクラスを教えることはできますか」と聞かれました。ホームメイキングやカブスカウトで行った手芸のことを思い出しました。大人になってからずっと子供たちや大人向けのクラスを教えてきたと説明しました。自分には独創力があり、芸術的才能があると知っていましたし、子供や大人向けの楽しいプログラムを考え出すことができると確信していました。

その仕事を得られたときは歓喜に震えました。わたしはその仕事を愛し、教会の召しを果たすようにその仕事に取り組みました。すなわち、自分



### 一生の投資

「教会は犠牲を払うように皆さんに求めるかもしれませんが。皆さんの最善のものをささげるように求めるかもしれませんが。そうすることで失うものは何もないのです。犠牲は投資となって、あなたの生きているかぎり皆さんに配当をもたらすのです。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長  
(1910 - 2008年)  
「人生の責務」『リアホナ』1999年5月号, 6

の仕事を尊んで大いなるものとし、与えられた以上のことを行い、残業についてぐちを言ったりしませんでした。英語のコンピュータークラスを開き、スペイン語でクラスを教えらる若い学生を採用しました。美術や手芸のクラスを教え、数え切れないほどの作家や著名な講演者を接待しました。季節ごとに図書館を飾りつけ、関連する本を展示しました。

ある日、州知事室からだと名乗る人から職場に電話があり、州知事の助手として働くことに興味があるかと聞かれました。「一体どこのどちら様ですか」とわたしは笑って聞きました。その人はこの電話が冗談などではなく、翌日面接に来るようと言いました。次の日、わたしは恐らく冗談だろうと浮かない気持ちで出かけましたが、冗談などではありませんでした。面接はうまく行き、わたしはその場で採用されました。

新たな仕事では、何年にもわたって

教会で話すことを通して培った技術を使いました。州知事は招かれたすべての催しに参加できないので、州知事室の職員が代わりに話すことが求められました。教会でのお話の責任や、指導者として奉仕してきたことが上院議員、地元や国の政府高官、そして有名人と並んで公の場で話すという経験を与えてくれました。わたしは州知事の助手として7年間、州知事とわたしが二人とも退職するまで働きました。

教会の召しで奉仕している間に受けた広範囲に及ぶ経験がなかったら今ごろどうなっていたことでしょうか。主の教会において、主の僕<sup>しもべ</sup>として学んできたことのすべてが、わたしの人生を豊かに祝福してくれました。奉仕をしている間、ほかの人を助けていただけでなく、自分が飛躍的に成長していたのです。わたしは福音に深く感謝しています。そして教会での奉仕<sup>あかし</sup>に対する価値について確固とした証があります。■



七十人  
ペア・G・マーム長老

## 困難なときに 平安を見いだす

「すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」(マタイ 11:28)

### 苦難の世において

「主が十字架につけられる直前、弟子たちが恐怖と混乱と迫害に瀕していたとき、救い主は彼らに言葉をかけられ[ました。]全員に向けて与えられたこの世で最後の勧告でした。『これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。』(ヨハネ 16:33)

ですから、災いに満ちた世の中にあっても、信仰を忘れてはなりません。……これまで以上に大胆に勇気をもって立派に生き抜きましょう。

キリストは世に打ち勝ち、わたしたちのために道を用意してくださいました。」

十二使徒定員会  
ジェフリー・R・ホルランド長老  
「最も大いなるこの神権時代」  
「リアホナ」2007年7月号, 20

**ス**ウェーデンのイエーテボリ市街には両側に美しい木が立ち並ぶ広い通りがあります。ある日、1本の大木の幹に穴があるのが見えたので、好奇心から中をのぞいてみると、中がすっかり空洞でした。

その木がそのような状態でも立っていることに驚きました。見上げると、幹の上の方に幅の広い鉄の輪が付けられていました。この輪にはワイヤーが数本付いていて、それぞれ近くの建物にしっかり固定されていました。遠くから見れば、その木はほかの木と変わりませんでした。中をのぞいてみなければ、実際は中がうつろになっていて、中身の詰まった強い幹ではないということが分かりません。若い木が少しずつ生長して大木になるように、わたしたちも一歩ずつ成長して、あのうつろの木とは対照的に、中から外まで身の詰まった人になれます。

イエス・キリストの贖いによる癒しを通して、わたしたちは高く、強く立つ力を得、光と理解、喜び、愛で心が満たされます。

イエス・キリストを信じ、主の教えに従うことにより、確固とした希望が得られます。この希望が魂の堅固な錨いかりとなります。堅く確固とした、揺るぎない者になれます。内なる平安を保ち、主の安息に入ることができます。しかし、光と真理に背を向けるなら、あの木のような虚しさが魂の奥底を占めることとなります。

思いと心に永続する平安をもたらす事柄に心を向けましょう。そうすれば、「神の前において[わたしたちの]自信は増[すでしょう。]」(教義と聖約 121:45) 主の安息に入り、平安の賜物を受けるといふ約束は、この世的な一時の満足とは懸け離れたものです。それはまさに天の賜物です。「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに



与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」(ヨハネ 14:27) 主は魂を癒し、強める力をお持ちです。主はイエス・キリストであります。■

「魂に休みが与えられ」『リアホナ』2010年11月、101 - 102から

このテーマについて詳しくは、モーサヤ 24:15; 教義と聖約 6:34, 36; 59:23; 78:17-18; ジョセフ・B・ワースリン「内なる平安」『聖徒の道』1991年7月号、37; ニール・A・マックスウェル「愛の腕の中に抱かれて」『リアホナ』2002年11月号、16を参照してください。

「すると大ぜいの群衆が、足、手、目や口などが不自由な人々、そのほか多くの人々を連れてきて、イエスの足もとに置いたので、彼らをおいやすくなった。

群衆は、口のきけなかった人が物を言い、手や足が不自由だった人がいやされ、盲人が見えるようになったのを見て驚き、そしてイスラエルの神をほめたたえた(マタイ 15:30-31)

### 困難な時代に平安と希望を見いだすにはどうしたらいいでしょうか

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老が「最も大いなるこの神権時代」という説教の中でこの問いに答えています(『リアホナ』2007年7月号、18)。

1. 「わたしたちは……可能なかぎり忠実な生活を送り、……再臨とそれに伴う出来事がわたしたちの前途のどこかで起きるかもしれないからといって、それにおびえて消極的になるはなりません。」
2. 「恐怖と恐怖の父(サタン)のために信仰を捨てたり、忠実な生活から離れたりするようなことがあってはなりません。」
3. 「忠実でありさえすればよいのです。神がその責任を負ってください。神はあなたの名前と必要を御存じです。」

希望、平安、またイエス・キリストへの信仰に関する聖句を聖典の中に見つけましょう。

# わたしのための 総大会

わたしは恐ろしい現実に直面していました。  
しかし、あの10月最初の週末、  
天の御父はそのことを御存じだったのです。

アン・シングルトン

わたしは総大会を祝日のように楽しみに待つ家庭で育ちました。幼いころの日曜学校では、総大会の期間中にテレビで話をする中央幹部を、写真の中から見つけるよう課題を受けたこともありました。大きくなるにつれて、画面に映る姿だけでなく、その声や話されるメッセージからも、だれが話しているか分かるようになりました。大学1年生のときは、所属していたインスティテュートの聖歌隊がタバナクルで開かれる大会のある部会で歌うよう依頼され、わたしは心躍らせました。要するに、20歳のときには毎年4月と10月の最初の週末に特別な思いを抱くようになっていたのです。

けれども、総大会がこれほど身近なものになるとは思ってもいませんでした。あるとき、わたしたちのステーキは、カンファレンスセンターで開かれる2008年9月の中央扶助協会集会のチケットをもらいました。わたしはステーキの姉妹たちと交わる機会や、靈感あふれる音楽や話を楽しみにしました。特に、大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長のメッセージを聞くことができると思うと、へりくだる思いがしました。すべての言葉に集中し、熱心にメモを取り、勧められたことを実践しようと決意しました。これは翌週末に開かれる総大会のすばらしい序章になると感じました。



その後、わたしの世界は粉々に砕け散りました。次の木曜日、仕事中に主治医から電話があり、前の週に受けた検査で癌が見つかったという報告を受けたのです。

それからの数日間というもの、心に疑いや恐れ、心配、悲しみ、落胆など様々な思いが入り乱れ、苦しみました。あまりにも多くの感情が次々と押し寄せてくるため、眠ることができず絶えず涙があふれました。これほどの恐怖を感じたことは、それまで一度もありませんでした。

土曜の朝になり、わたしはほかの用事をしながら大会の話を知ろうと思いました。忙しくしていれば、自分の試練について考えなくて済むのではと思ったのです。しかし、いつの間にか洗濯物を下に置き、食器を流し台の中につけたままにして、テレビの話に引き寄せられていました。十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老が、最初の部会を次のような言葉で始めたとき、はっとして胸の鼓動が高鳴りました。「人生のすべての苦難や嵐を、あらかじめ知ることはできません。間近に迫っているものですから分からないのです。しかし、信仰と希望を抱く者であるわたしたちは、イエス・キリストの福音が真実であり、『最善はこれからやって来る』ことを一点の疑いもなく知っています。」<sup>1</sup>

次のテーマはきっと「道徳的な清さ」や「安息日」に違いないとわたしは考えていました。しかし、後に続くメッセージはどれも「試練のときの希望」に関する話だったのです。

日曜日は平安な一日でした。家族が心を一つにしてわたしのために祈り、断食してくれたのです。わたしは前の日と同様に、次々と希望について語られる言葉に耳を傾けていました。午後の部会を締めくくるメッセージは、十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老による次のような力強い言葉でした。「イエス・キリストの贖罪は、わたしたち一人一人がこの世の生涯で出会うあらゆる試練や困難にも及ぶことを証します。時にわたしたちは『あのね、大変だったんだよ』と言いたいときがあります。そんなときこそ、主がそこにおられることを実感し、その愛の御腕に抱かれて平安を得られるときなのです。」<sup>2</sup>

それは断食や祈りのおかげかもしれませんし、あるいは単にわたしの心が謙虚になっていたからかもしれません。しかし始めから終わりまで、その総大会はわたし個人のための大会で、聴衆は自分一人であるかのように感じたのです。

大会に続く数日間、数週間、数か月間は、検査や手術、化学療法、放射線治療など多くの試練に立ち向かう日々でした。この12か月間に絶望を感じることはなかったと言えたいのですが、実際は何度も希望を失いそうになりました。しかしその度に、ワードの会員や家族の祈りと断食、父から受けた神権の祝福や母の信仰によって支えられていると感じました。神の言葉を通して慰めが得られることを知っていたので、わたしは治療を始めた最初の数か月にモルモン書を始めから終わりまで読みました。

あの最も苦しかった日々、わたしはいつも、ぼろぼろになった『エンサイン』(Ensign) (訳注——『リアホナ』に当たる教会機関誌) 2008年11月号を手にとって、愛に満ちた御父が靈感を受けた僕を通して、恐れに満ちたわたしの心に直接語りかけてくださった言葉を読みました。大会を開くに当たってトーマス・S・モンソン大管長が語った言葉を読んだときは驚嘆しました。わたしの記憶にはなかったのですが、モンソン大管長はこう言ったのです。「天の御父はわたしたち一人一人の必要を心に留めておられます。この第178回半期総大会で語られる言葉に耳を傾けることにより、わたしたちが主の御霊に満たされますように。」<sup>3</sup>

モンソン大管長の言葉が真実であるという証をわたしは得ました。10月のあの週末に、天の御父はわたしを心に留めてくださいました。御父はわたしが御父の愛の中に、そしてわたしのために立ててくださった御父の計画の中に、希望を見いだす必要があることを御存じだったのです。御父は語られ、わたしは耳を傾けました。■

注——シングルトン姉妹は2009年6月に癌の治療を終え、癌は再発していません。

注

1. L・トム・ペリー「簡素に行わせなさい」『リアホナ』2008年11月号, 7
2. クエンティン・L・クック「あのね、大変だったんだよ」『リアホナ』2008年11月号, 105
3. トーマス・S・モンソン「大会へようこそ」『リアホナ』2008年11月号, 6



# 結び固めの儀式 | 家族を永遠につなぐ

**地** 上にいる間、わたしたちは神権の権能を通じて、聖なる神殿で神と神聖な聖約（約束）を交わすことができます。聖約の中で、夫と妻は互いに結び固められ（永遠に結婚し）、子供を自分たちに結び固める機会に恵まれます。これは、わたしたちが主と交わした聖約と互いに交わした聖約を守るなら、死によって永遠に分かたれることがないという意味です。この結び固めの儀式は、わたしたちが永遠に御父とともに住むために、天の御父の計画に欠かせないものです（教義と聖約 131:1-4; 132:19 参照）。

神殿で自分のために聖約を交わすと、亡くなった先祖のために家族の歴史を集め、神殿の儀式を執り行うことができます。これによって先祖もまた神殿の聖約を交わせるようになるのです（教義と聖約 138:29-37 参照）。

家族を結ぶ神権の力については、古代に預言されており（マラキ 4:5-6 参照）、また現代においても預言されました（教義と聖約 2 章参照）。双方とも、預言者エリヤが「先祖に与えられた約束を子孫の心に植え」ることと、子孫の心が「その先祖に向かう」ことについて明らかにしています（教義と聖約 2:2）。

エリヤが再び遣わされるという約束は、アメリカ合衆国オハイオ州でカートランド神殿が奉獻されて間もない 1836 年 4 月 3 日に成就しました。

ほかの預言者の訪れが続く中、エリヤが姿を現し、預言者ジョセフ・スミスに神権の鍵<sup>かぎ</sup>を与えたのです（教義と聖約 110:13-15 参照）。

現在、全世界で 134 の神殿が儀式を行っています。神殿で、ふさわしい末日聖徒は神と聖約を交わし、家族として永遠に結ばれます。その後、聖徒たちは再び神殿を訪れて、亡くなった先祖の代理として奉仕することができます。こうして、子孫の心が先祖に向かうという預言が成就しているのです。■

もっとお知りになりたい方は、『福音の原則』（2009 年版）207-211; 『真理を守る』40-43, 74-77, 112-116, 130-131; 『神殿に入るふさわしさを保つ』『リアホナ』2010 年 8 月号、12-13 をご参照ください。

「わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐられ、あなたが地上で解くことは、天でも解かれるであろう。」  
（マタイ 16:19）



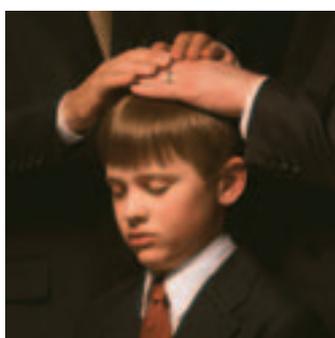
フォトイラストレーション/ラウレン・フオチエット、ジョン・ルック、クレイグ・ダイモット、マシュー・ライアー、デビッド・スターカー、ブラジル・レシフェ神殿の写真/ラウレン・フオチエット

天の御父のもとに帰って  
ともに住むために、  
わたしたちは以下のような  
特定の聖約と儀式を  
受けなければなりません。

1. わたしたちはバプテスマと確認を受け  
ます(マタイ3:16-17; ヨハネ3:  
5; 2ニーファイ31:5-18 参照)。



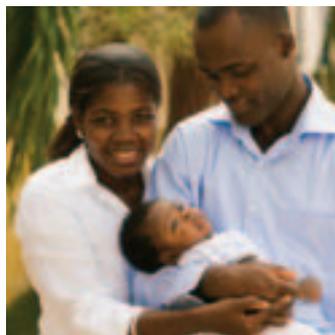
2. 男性はアロン神権を受け、後にメルキ  
ゼデク神権を受けます(教義と聖約  
128:11 参照)。



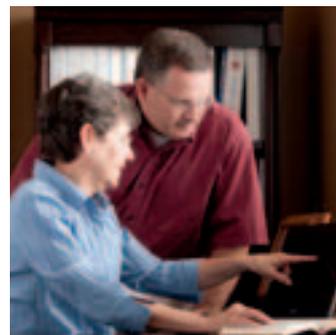
3. わたしたちは神殿で、エンダウメント  
に伴うさらなる聖約を交わします。



4. 夫婦は神殿で、この世と永遠にわたっ  
て結び固められます(結婚します)。



5. 結び固められた夫婦の間に生まれた  
子供は「聖約の中で」生まれます。聖約  
の中で生まれなかった子供は、両親に結  
び固められる機会があります。



6. わたしたちはその後、神殿の業のため  
に先祖の名前を準備し、必要な儀式を神  
殿で受けます(1コリント15:29; 教  
義と聖約128:15-16, 24 参照)。

# 永遠に続く結婚



大管長会第一顧問

N・エルドン・  
タナー管長  
(1898 - 1982年)

ナサン・エルドン・タナー管長は1898年5月9日にユタ州ソルトレーク・シティで生まれました。1962年に使徒に聖任され、1963年から1982年まで4人の大管長の下で顧問として働きました。以下は、1980年4月の総大会でタナー管長が話した「日の栄えの結婚と永遠の家族」(“*Celestial Marriages and Eternal Families*”)からの抜粋です。英語の全文を読むには、[conference.lds.org](http://conference.lds.org) にアクセスしてください。

**結**婚を真剣に考えているときは、一生のうちで最高に幸せなときと言えるのではないのでしょうか。……結婚の時点ではほとんどだれもが自分の選択は正しいと確信していると言ってよいと思います。しかし、新婚旅行が済むと、トラブルが起き始め、やがて離婚に終わるといったことが少なくありません。

頻発する離婚のせいで、ある人々は、司式は無意味だということから聖職者も法的手続きも要らないという生き方に傾いています。そういう人たちは自分の住む地球が創造された目的をどれだけ知っているのでしょうか。なぜ神が男女を造り、神聖な結婚の儀式を定められたのか、聖文をよく調べたのでしょうか。そのことが度々疑問に思えてきます。

まず、地球が創造された目的を考えてみましょう。聖典に明らかにされているのは次のことです。つまり、神の息子、娘が死すべき世に

住み、戒めを守ることによって、自分たちがかつていた神のもとへ帰るにふさわしいことを証明する、そのための場所を提供するのが、ほかならぬ地球が創造された目的だということです。

神は地球を創造された後にこう言われました。「『われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造〔ろう。〕』……

神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

神は彼らを祝福して言われた、『生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。』(創世1:26 - 28)

神は女を創造し、彼女を男のところへ連れて来てこう言われました。「それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。」(創世2:24)

確かに、結婚は神が定められたものです。こうして初めて夫婦について言及されて以後、男女が結婚の儀式により夫婦となって婚礼の宴が設けられる事例は聖典にしばしば出てきます。わたしたちはただ「飲み食いし、楽し〔む〕」ためにこの地上に生きているわけではありません(2ニーファイ28:7)。地を従わせよ、増えよ、地に満ちよと命じられているのです。神が、「地に満ちよ」だけではなく、「ふえよ」と言われたことは興味深いことです(創世1:28参照)。

聖典に告げられているとおり、神は永遠であり、神の被造物も永遠であって、神の真理も永



1927年ごろ、  
N・エルドン・タナー管長と  
サラ姉妹と娘たち。  
夫妻にとって5番目で  
末っ子のヘレンは  
1931年に生まれた。

遠であることを理解するのはわたしたちにとって大切なことです。神がアダムにエバを妻として与えられたとき、そのきずなは永遠でした。神によって定められ、聖なる神殿で執行される結婚は、死ぬまでのものではなく、永遠のものなのです。伝道の書にはこうあります。「わたしは知っている。すべて神がなさる事は永遠に変わることがな〔い。〕」(伝道3:14)

キリストがペテロにわたしはだれかとお尋ねになったとき、ペテロは「あなたこそ、生ける神の子キリストです」と答えました。イエスはペテロに、その知識が父なる神からの啓示によること、そして御自身の教会をその啓示の岩の上に建てることを言明されました。次にこう言われました。「わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐこ

とは、天でもつながれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう。」(マタイ16:15-19 参照)

パリサイ人がイエスのところへ来て、イエスを試みようとして、離婚について質問したとき、主の返答は次のようなものでした。

「あなたがたはまだ読んだことがないのか。『創造者は初めから人を男と女とに造られ、そして言われた、それゆえに、人は父母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである。』

彼らはもはや、ふたりではなく一体である。だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない。」(マタイ19:4-6)

これらの聖句によれば、神により定められ、神の権能により聖なる神殿で執行された日の栄えの結婚は永遠であり、そこで結ばれた夫婦はこの世から永遠にわたって結び固められ、子供は永遠の福音の聖約の中に生まれてきます。その家族は、忠実であれば永遠の家族となるのです。……

イエス・キリストは、わたしたちは何者で、何をなすべきか、まさにその教えを伝えるためにこの世に来られました。キリストはわたしたちに命と救いの福音の計画を教え、わたしたちを救い得る名はキリストの名以外に天下のだれにも与えられていないと言われました(使徒4:12 参照)。この末日に同じ福音が回復され、現在の生ける預言者……が、人に御心を伝える神の代々の器の一人として神を代表して語っています。

わたしたちはイエス・キリストの福音により、また神の戒めや神と交わした聖約を守ることにより、親子ともども天の御父のもとに帰る備えをしながら、家庭を地上の天国にすることができるのです。■

つづり、句読点、大文字、段落を標準的なものに変更しています。

# 永遠の結婚を築く

ロサナ・ポンテス・バルボーサ・ネベス

10代のころ、結婚はすばらしい、永遠の経験となり得るといふ信仰をはぐくみました。しかし、いつもその信仰を持ち続けることは難しいことでした。成長する過程で見てきた結婚はどれもうまくいってなかったため、結婚への恐れを抱えてきたからです。それでも、結婚が必ずしも失敗するわけでも、不幸に終わるわけでもないと考え直し、天の御父が幸福な結婚生活を送る方法を示して助けてくださると信じることにしました。

26歳のとき、ブラジル・サンパウロ神殿でシドネイと結婚しました。交際しているときから、わたしたちは人生で最も重要な日のために霊的にも感情的にも備えようとしてきました。どのような結婚をしたいか、目標を一緒に設定し、互いの思いや福音についての証、希望や不安、夢について話し合いました。結婚に関する預言者の勧告も一緒に読みました。できる範囲であらゆる準備をして、互いや将来生まれてくる子供に幸福と安心感をもたらしたいと思いました。幸福な人生を送るための知恵を主に求めました。

わたしたちは今や結婚して18年になります。この年月の間、福音の教え、指導者の勧告、そして御霊を通して常に学んできました。以下は、わたしたちが結婚を堅固で幸福なものに



するためにしてきた事柄です。

1. 毎日ともに祈る。夜祈るとき、自分たちの結婚や互いへの愛について天の御父に感謝します。家族を壊そうとするサタンの策略に遭うときにそれぞれが確固として立ち向かえるように、互いの気持ちを強めて

くださるようお願い求めます。

2. 赦しを請う。プライドがじゃまをして赦しを請うたり、誤りを認めたりできないことのないようにします。だれが正しくてだれが間違っているかよりも、愛と一致の方が大切です。
3. 互いを悪く言わない。どちらも不



## 天の御父の計画における結婚

「夫<sup>27:14</sup>と妻がそれぞれ主に近寄り(3 ニーファイ 27:14 参照), 互いに仕え合い, 大切にし合い, 経験を共有し, 一緒に成長し, 一つになり, それぞれの異なった性質を組み合わせることで祝福が受けられるようになれば, 御父が子供たちに熱望してお

られることが徐々に成就するのが実感できるようになります。御父の計画の最大の目的である究極の幸福は, 永遠の結婚の聖約を交わし, それを尊ぶことによって得られるのです。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老

「結婚——神の永遠の計画に不可欠なもの」『リアホナ』2006年6月号, 54



て, 相手の話に心から耳を傾けます。

6. 愛と思いやりをもって互いに接する。相手を侮辱したり、非難したり、批判したりしません。
7. 聖典や現代の預言者の言葉に、結婚に関する助けや勧告を常に求め続ける。わたしたちはすべてを知っているわけではありません。不完全で、簡単に忘れてたり、間違いを犯したりします。問題に悩まされ自分たちが傷つく前に、夫婦関係を強めるよう努力します。

これらのことは夫とわたしの関係を強めるうえで助けとなってきました。天の御父に自分たちの生活や思いについて伝え、御父の助言を求めるなら、聖霊を通して靈感が与えられることを知っています。そうすればわたしたちは困難な時期をすべて乗り越えて永遠の家族になれます。また、わたしたちが天の御父の御心を尋ね求め、行うときに御父が助けてくださることも知っています。■

完全であることは明白ですが、互いを悪く言いません。ほかの人といるときも互いについて肯定的な言葉を語ります。

4. 結婚制度を擁護する。機会があれば、そして特に結婚制度に批判的な人々が周りにいるときは、家族や自分の信条を弁護します。
5. よく話し、耳を傾ける。自分のしていることを一度やめ

## 実りある結婚

「実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとって確立され、維持されます。」

「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号, 49



十二使徒定員会  
ロバート・D・ヘイルズ長老



# 地上の 小さな天国

日の栄えの結婚には、ふさわしさを保ち、日の栄えの原則に基づいた献身的な生活を送ることが求められます。このような生活は、今の生活を幸福へ、次の世では昇栄へと導きます。

**神** 殿結婚とは、結婚の儀式が執り行われる場所を表しています。これに対し、日の栄えの結婚とは、神殿結婚の儀式で交わした神聖な聖約に忠実であることによって築くものです。

日の栄えの結婚には、誓いを交わした後に、ふさわしさを保ち、日の栄えの原則に基づいた献身的な生活を送ることが求められます。このような生活は今の生活を幸福へ、そして次の世では昇栄へと導きます。日の栄えの結婚の律法にかなった生活を送るなら、伴侶とともに、そして家族とともに地上に小さな天国を築くことができるでしょう。そしてそれらの律法に従って生活するとき、わたしたちは天と同じ律法に従っています。やがて迎える永遠の世で御父と御子と自分の家族とともに暮らす際の生き方を練習しているのです。これこそが、末日聖徒イエス・キリスト教会が世に示すメッセージだとわたしは思います。



はらうと  
伴侶を選ぶときには、  
あなたがた二人が  
日の栄えの結婚関係を築きたいと  
心から願っているかを  
明確にしてください。  
永遠の伴侶や永遠の家族を得る望み、  
天の御父のもとで暮らす望みを  
二人が共有しているかを  
確認するのです。

## 伴侶を選ぶ

教会の独身会員はよくこう尋ねます。「どうすれば結婚すべき正しい人を見つけられますか。」一つの判断基準を提案しましょう。将来伴侶になるかもしれない人の霊的な水準を測ってください。まず、教会員であれば、活発であってすべての点で忠実ですか。それとも教会に消極的だったり、敵対的な態度を執ったりしていませんか。次に、もし会員でなければ、福音とその教えに理解を示していますか。それとも、態度があいまいだったり、否定的だったりしていませんか。

活発な会員と神殿で新しく永遠の聖約の中でこの世と永遠にわたって結婚すれば、問題に遭遇するでしょうか。はい。それらの問題を解決できますか。はい。神殿で結婚していない場合よりも上手に問題を解決し、証を強められる見込みがあるでしょうか。はい。しかし、教会に反抗的な人や、福音に消極的な人と結婚すれば、いつの日かその人か教会のどちらかを選ばざるを得ない立場に身を置くこととなります。それはとても重い責任です。

伴侶を選ぶときには、あなたがた二人が日の栄えの結婚関係を築きたいと心から願っているかを明確にしてください。永遠の伴侶や永遠の家族を得る望み、天の御父のもとで暮らす望みを二人が共有しているかを確認するのです。

## 律法を守る

わたしたちが律法を忠実に守るときにのみ、永遠に伴侶とともに暮らせることと主は明言しておられます。現代の啓示を通して主はこう語っておられます。

「これからあなたに与える指示を受け入れて、これに従うために、心の備えをなさい。この律法を示された者は皆、これに従わなければならないからである。

見よ、わたしはあなたがたに一つの新しくかつ永遠の聖約を示す。」(教義と聖約 132:3-4)

教会のすべての会員は教義と聖約の第132章を読み、研究するべきです。結び固めの儀式を行うとき、主と執行者の間に立つ人はだれもいないということを知っていますか。結び固めの儀式は麗しく、感動的な儀式です。

神殿結婚の根底にある深遠な目的は、贖い主御自身が次のように語られたときに明らかにされました。「この新しくかつ永遠の〔結婚の〕聖約についてであるが、これはわたしの完全な栄光のために定められたものであって、この完全な栄光を受ける者はその律法に従わなければならない。そうしなければ罰の定めを受ける……。」(教義と聖約 132:6)

主はまた、こう言われました。「それゆえ、もしある男がこの世において妻をめとるのに、彼がわたしによらずに、あるいはわたしの言葉によらずにめとるならば、彼がこの世にいるかぎり彼女と誓い、彼女も彼と誓うとしても、彼らの誓いと結婚は、彼らが死ぬと、そしてこの世の外に去ると、効力がない。それゆえ、彼らはこの世の外では、いかなる律法によっても結ばれないのである。」(教義と聖約 132:15)

教義と聖約では、日の栄えの結婚に入らなければ日の栄えの王国において最高の階級に到達できないと教えられていることを御存じですか(教義と聖約 131:1-4 参照)。神殿結

婚の祝福を受けない人にどのような結果が待ち受けているかも明確です。夫婦のきずなが、死によって分かたれるまでに限られると考えると、深い悲しみを感ずります。

福音の目標と日の栄えの結婚の目的は、わたしたちがともにいられるようになるためだけでなく、天の御父がお与えになる最高の報い、すなわち日の栄えの王国で昇栄し、王国の中で増え、家族とともに永遠の命を受けるという報いにふさわしくなることです。

### ともに登る

日の栄えの結婚は山登りに似ています。自分と永遠の伴侶をロープで結び、人生という山を登り始めます。二人に子供が生まれると、子供たちも同様に結びつけて登り続けます。ロープは山を登る全員をしっかりとつないでくれますが、雨や風、雪、氷などが行く手を阻みます。この世の様々な問題が皆さんのつながりを絶ち、山から引きずり下ろそうとします。

頂上へはどうしたら到達できるでしょうか。母親や父親があきらめて、互いと子供たちをつなぐロープを切ってしまったら、それを機に、家族のどれかが山から落ち、ほかの家族も道連れになるでしょう。家族全員が山から落下して永遠の頂上に到達しないかもしれません。そのような危険は冒せません。家族の一員として、天の御父のもとに帰ろうとする山登りのチームに結ばれていることをいつも忘れないようにしましょう。

有名な言葉にはこうあります。「わたしを引き上げてください。わたしもあなたを引き上げます。そうしてとも



に登りましょう。』

結婚における夫婦関係は、松葉杖づえのようなものではありません。天使よりも崇高だと思ふ人と結婚し、その人に頼るのではありません。むしろ、自分自身と持てる賜物や才能を磨くのです。自分を磨く中で夫婦がともに成長し、互いに支え合い、強め合うのです。

わたしは妻と結婚する前、彼女にこのように言いました。「ねえ、メアリー、仕事で成功するためには国内で、もしかしたら海外でも、一生懸命働かなければいけないと思うんだ。わたしと一緒にしてくれるかい？」彼女は行くと言ってくれました。結婚して

日の栄えの結婚は山登りに似ています。自分と永遠の伴侶をロープで結び、人生という山を登り始めます。二人に子供が生まれると、子供たちも同様に結びつけて登り続けます。



幸福な結婚の秘訣は、  
弱点を守り、  
あなたがいちばんよく知っていて  
いちばん愛しており、  
詰まるどころ  
最も傷つけることのできる人の  
弱さを利用しないことです。

10年後、わたしはイギリスに赴任することになり、妻も一緒に行きました。その次はドイツへ、またその後スペインへと、わたしたちは移り住みました。妻は世界の多様な文化に親しみ、二つの言語を話すようになりました。夫婦とともに力を合わせ、成長していくと決めていたおかげです。

互いに親切と敬意をもって接するように心掛けてください。皆さんが何者で、どのような人物になるよう望んでいるかを尊重し合うのです。

何年か前、ビショップだったときワードにいた女性を思い出します。彼女と夫は結婚生活に問題を抱えていました。二人がわたしと話しているとき、妻が夫をけなし始めました。男性が自尊心を保つために褒められる必要のある、大切な面全般に及ぶものでした。父親としてふさわしくないこと、夫婦関係でふさわしくないこと、

家族の養い手としてふさわしくないこと、そして社会的にもふさわしくないことを話したのです。

わたしは彼女に尋ねました。「どうしてあなたは自分が愛し支えるべき人のことをそのように言うのですか。」

彼女は答えました。「自分の愛する人と言いつ争う方がいいんです。その人がいちばん傷つくところを知っているからです。」

その女性は本気でそう思っていたのです。

しかし、わたしたちは末日聖徒として、道徳的な選択の自由を使い、成長の機会を活用するべきです。すべての人に弱さがあります。サタンは皆さんの愛する人、友人、ルームメイト、兄弟姉妹、両親のアキレス<sup>けん</sup>腱、すなわち弱点を知っています。皆さんは自分のアキレス腱を知っていますか。自分が避けなければならない状況や、自分の弱さ<sup>ひけつ</sup>を知っていますか。幸福な結婚の秘訣は、アキレス腱を守ることです。そしてあなたがいちばんよく知っていていちばん愛しており、詰まるどころ最も傷つけることのできる人の弱さを利用しないことです。

「それゆえ、あなたのすべての生き方により、またすべての祈りにより、すべての訓戒により、すべての行いにより、あなたの兄弟たちを強めなさい。」(教義と聖約 108:7) 言い換えれば、日々、祈ったり話したりするときに、訓戒や行いにおいて互いに助け合うべきなのです。

大学を卒業したばかりの若い夫婦を思い出します。片方の親が家を贈り、別の親が家具と新しい車を与えました。若い夫婦はこの世のものをすべて与えられたのです。彼らは3年

のうちに離婚しました。努力したり、犠牲を払ったりしませんでした。まるで松葉杖に頼るように互いと親に頼り、自らを弱め、成長しませんでした。苦勞から学ばなかったのです。結婚を築き上げる事柄に心を配りませんでした。皆さんはどうか犠牲を払い、分かち合い、ともに成長してください。

### 支え合う

5年の間に長老定員会会長、支部会長、ビショップとして奉仕した後、わたしたちは新しいワードに引っ越しました。妻は間もなく扶助協会会長に召されました。彼女がビショップとの最初の話し合いをしている間、わたしは幼い二人の子供を追いかけて、廊下や駐車場、多目的ホールを走り回っていました。待たされるのは初めてでした。1時間半待ちました。メアリーがビショップの部屋から出て来たとき、わたしは一人の息子を腕に抱え、もう一人の手を引いていました。何か不平を言う勇氣はありませんでしたが、妻に向かって「1時間半も待たせていたことを知っている？」という表情をしました。

すると、彼女は5本の指を立てて、こう言ったのです。「5年間よ。」彼女はそれほど長い間わたしを待ち続けていたのです。そしてわたしは、妻がわたしの召しを支えてきてくれたのと同様に、今度は自分が妻の召しを支える番だと気づきました。

まるで松葉杖に頼るように伴侶に頼る代わりに、互いがしっかりと立って強め合い、毎晩一緒に祈るときに助けを求めるように勧めます。わたしが人生の中で不幸で、落胆し、悲しい思いをしていたときは、わたしが主の



教えから、ほんのわずかでも外れてしまったときです。皆さんが真の幸福と、地上の小さな天国から日の栄えの結婚の喜びを見いだせるように願っています。■

1976年11月9日にブリガム・ヤング大学で行われた説教 [A little Heaven on Earth] より。英語の全文を見るには [speeches.byu.edu](http://speeches.byu.edu) にアクセスしてください。

まるで松葉杖に頼るよう  
伴侶に頼る代わりに、  
互いがしっかりと立って強め合い、  
毎晩一緒に祈るときに  
助けを求めるように  
勧めます。



# 神様が

## わたしたちを祝福できるように

アルゼンチンのある地方部では、小さな支部が3つしかないにもかかわらず、4年足らずの間に17組もの神殿結婚が執り行われました。それはなぜだったのでしょうか。答えは簡単だと指導者たちは言います。それは従順です。



アルゼンチンのウシュアイアとブエノスアイレスの位置  
地図: MOUNTAIN HIGH MAPS © 1993 DIGITAL WISDOM, INC.

教会機関誌  
マイケル・R・モリス

21歳のギセラ・シルバは家族とともにアルゼンチンのメンドーサからアルゼンチン最南の都市、ウシュアイアに引っ越しました。そのとき彼女は、神殿結婚のチャンスを捨ててきてしまったのではないかと考えました。なぜならメンドーサのステーキには末日聖徒が集うワードがたくさんあるのに比べ、ティエラ・デル・フエゴ諸島に位置する、孤立したウシュアイアには3つの小さな支部に集う約600人の会員しかいなかったからです。

「両親は神殿で結婚しました。そしてわたし自身もこの祝福にあずかり、忠実な教会員と結婚して永遠の家族を築きたいと思っていました」とギセラは振り返って語ります。「でも、ウシュアイアに移ったとき、ヤングアダルトはほんとうにわずかで、結婚なんてできるのだろうかと思いました。」

ルーカス・ロマノも、ギセラと同じように心配していました。ウルグアイに伝道に行っている間、家族はウシュアイアに引っ越しました。伝道後、家族と暮らし始めてすぐに、ヤングシングルアダルトの男性の数が女性の数を上回っていることに気づきました。しかし彼は地域の指導者の勧告に従い、教会員の女性としかデートはしないと決心しました。

教会でギセラに会い、彼女がルーカスの教えている学校で英語のクラスを取るようになってからは、その勧告に従うのはもっと簡

単になりました。授業の後、歩いて彼女を家まで送るようになり、やがて二人はデートするようになりました。親しくなり、それぞれが相手との関係について祈るにつれ、「教えに教え、訓戒に訓戒を加え」られて確信が得られるようになりました(2 ニューファイ 28:30; 教義と聖約 98:12)。

2005年4月、ルーカスとギセラはアルゼンチンの法律で定められているように、まず市民結婚をし、その後でアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿で結び固めを受けました。二人が結び固められたことは、ウシュアイアの若人たちにとって重要なことでした。二人の結婚を皮切りに、その後4年弱で17組の神殿結婚が行われたのですから。

### 偉大な成功の物語

わずか3つの小さな支部しかない地方部で、それほど短期間に、それほど多くの神殿結婚が行われるに至ったのはなぜでしょう。地域の指導者によれば答えは単純で、それは従順です。

「これは偉大な成功の物語です」とウシュアイア地方部の前地方部会長を務めたマルセリーノ・トッセン会長は語ります。「ヤングシングルアダルトたちは、教会員に対してすばらしい模範を示してくれています。彼らの特質の一つは、主と預言者と地域指導者、そして御霊の促しに従うということです。この特質が、ここウシュアイア地方部のヤングシングルアダルトを一つにしています。」

しかしトッセン会長は、神殿結婚の大切さに関する教えや勧告が実を結ぶまでは、地域指導者は「しばらくの間、地方部全体として働きかけをする必要があった」ことも認めています。

現在のウシュアイア地方部会長であるロベルト・イグナシオ・シルバが、2004年に家族とウシュアイアに移り住んで気になったのは、未婚の帰還宣教師とヤングアダルトの女性の数でした。娘のギセラもその中の一人でした。ヤングアダルトは神殿結婚を目標にしていたのですが、励ましと方向づけが必要だったと言います。

「わたしは彼らに、永遠の伴侶を願うなら、完全な人を探す必要はないと話しました」とシルバ会長は語ります。「しかし、主に祈り、助けを願い求め、教会で忠実であり続けなければなりません。」

まず、ファイヤサイドや、リオ・ガレゴスなど北部の都市のヤングシングルアダルトとの合同活動を含め、ヤングシングルアダルトのための活動を増やしました。それに加えて、指導者は祈りや忠実さ、ふさわしさの大切さも強調しました。また、恐れを克服するのに十分な信仰を奮い立たせるようウシュアイアのヤングアダルトを励ましました。

### 何も持っていませんでした

「若い人々が持っていた大きな偏見の一つは、多くを持たないのにどうやって結婚できるのかという思いでした」とシルバ会長は言います。「結婚する前にすべてを持つ必要はないことを理解できるように助けてきました。」

ルーカス・ロドリゲスがエマニュエル・シルバと知り合ったのは、2006年

「神殿結婚の最大の祝福は、わたしたちは永遠の家族として結ばれているという

知識から得られる幸福感です」と

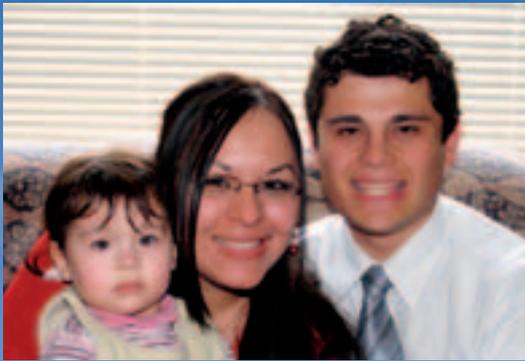
ルース・シルバは語ります。

写真右中央、夫のエマニュエルと娘のバニラとともに。

上——エゼキエル・オーガスティンとマリーナ・フラウと娘のアイリン。

下——ルーカス・ロマノとギセラ・ロマノと

子供のベンジャミン、レベッカ。



2月のことでした。二人は、ウシュアイアから北に320キロ離れたリオ・ガレゴスで行われる2地方部合同ヤングシングルアダルトの企画を頼まれたのです。二人一緒に働いてほしいと頼んできた友人は、二人の仲がうまくいけばと願ってそうしたのですが、「実際うまくいきました」とエマニュエルは言います。彼はアリゾナ州トゥソン伝道部での伝道を終えてから2年がたっていました。

半年後二人は結婚しましたが、霊的にも物質的にも備えをしていたおかげで、将来への不安を克服することができました。

「わたしは天の御父がわたしを愛し、家族を築いてほしいと願っておられると感じました。」祈りへの答えを受けたことについてエマニュエルは語ります。「いったん目標を立てると、天の御父は、道を示し、伴侶を見つけられるように助けてくださいました。」

ルースもそれに加えて、神殿に行く費用をためるために一生懸命に働くということも含め、夫婦として目標を立てたおかげで、前進することができたと語ります。「買いたいものもありましたが、『だめ、神殿に行けるように貯金をしなくては』が合い言葉でした。」

2006年にアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿に行ったとき、それまでの貯金は往復の飛行機代でなくなりました。「その後は、何もありませんでした」とエマニュエルは、新婚夫婦の口からよく聞かれる言葉を言いました。今、笑いながら当時を振り返るとき、二人の心は、信仰があったおかげで神殿で結び固めを受けるという「すばらしい経験」ができたことに対する感謝の念で満たされます。その経験は今も二人にとってすべてなのです。

「結婚について思い巡らすと、恐れのお気持ちは幾らでもわいてきます」とルースは語ります。「何が足りないのだろうか、経済的な面はどうだろうか、子育てはどうだろうか、と。でも、わたしたちが主の御言葉に従順であり、神殿に行き、家族を築き始めるなら、心配する必要はないのです。主は、わたしたちが想像もしなかったような方法で祝福を与えてくださるのです。」

## すべてを計画することはできない

2006年の初め、エゼキエル・オーガスティン・フラウは失業しましたが、それはコロンビアでの伝道を終えて帰って来てから約2年がたったときでした。まだ独身でしたが、自分の未来の妻はウシュアアにはいないと感じていました。彼は神殿に行き、導きを求めることにしました。

「もっと聖霊と交わり、わたしに対する主の御心<sup>みこころ</sup>を学び、霊感を求めたいと思っていました。神殿に行って、それが得られました。」

3,200キロに及ぶ道のりをバスに3日間揺られ、ブエノスアイレスに着くと、友達や親戚<sup>しんせき</sup>の家に泊めてもらいながら、頻繁に神殿に入りました。数週間して、お金がなくなってきたため、ウシュアアに戻ろうかと考え始めました。しかし、地元のビショップが仕事を探してくれ、残ることにしました。

しばらくして、教会の活動で、エゼキエルはマリーナ・マスという若い女性に会いました。二人はお互いに話しやすい人だと感じ、エゼキエルはすぐに、マリーナと一緒にいるとほっとすると感じるようになりました。ヤングシングルアダルトの集まりで、再びマリーナに会ったとき、彼女がとても印象的なことを語ったのです。

「結婚する相手に望む標準に添った生活をしなければなりません。」目標についての話し合いの中で、マリーナがこのように語ったのを、エゼキエルは覚えています。

一方マリーナは、ふさわしい伴侶が見つかるよう祈っていました。知り合いの男性はたくさんいましたが、エゼキエルの霊性に触れ、すぐに心引かれました。

共通の友人が助けてくれ、エゼキエルは職場近くに住む場所を見つけることができました。それは、そのとき彼が滞在していた場所からバスで3時間離れた場所でした。後で分かったのは、人口1,300万人という町の中で、彼の新しいアパートが、マリーナの家からたった2区画しか離れていないということでした。

「彼女の家から2区画離れた所に住もうと計画していたわけではありません。彼女がどこに住んでいるかさえ知らなかったのですから。」エゼキエルは振り返って、そう語ります。

近くに住んでいたおかげで、エゼキエルはマリーナに会う機会が数多く得られましたし、マリーナの家族は彼を温かく歓迎してくれました。一連の出来事は彼の祈りへの答えでした。

二人はデートを重ね、やがてともに将来を計画し始めました。2006年の秋に神殿結婚した後、二人はウシュアアに引越しました。

「わたしたちは、天の御父が持つておられるビジョンを常に



## 結婚が神聖なものであること

「永遠の御父のご計画の中で、結婚はいかに素晴らしいことでしょうか。それは神の子らの永遠の幸福と安寧のために、また人類が存続するために神の知恵をもって備えられた計画です。……」

古代、近代の聖文を読めば、結婚が神聖なものであることがはっきりと分かります。最も楽しいひとときや、人の心を高め満たしてくれるものは、世の悪の及ばない清く汚れない結婚によってもたらされます。」

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長（1910 - 2008年）  
「神が合わせられたもの」『聖徒の道』1991年7月号、  
71 - 72



理解することはできませんし、すべてを計画することもできません。」エゼキエルは回想して語ります。「しかし、わたしたちは従順になることで、神様がわたしたちを祝福できるようにすることができます。」

### 家族を築くのはすばらしいことです

トッセン会長は、神殿結婚によってウシュアエアにもたらされた最大の祝福の一つは、「聖約の子供たちによって教会が導かれる日が近づいていること」であると語ります。「その結果、福音がこの地で広がり、主は神殿結婚した忠実な夫婦を祝福してくださっているように、教会を祝福してください。」

「幼いころ、指導者が話してくれる結婚の話は、どれも幸せな物語ばかりでした」とルース・シルバは語ります。しかし、「それから二人は幸せに暮らしました。めでたし、めでたし」という結末を迎えるには、努力が必要であることに気づきました。「でも、おとぎ話ではなく、

現実のことだと感じています。神殿結婚から得られる最大の祝福は、永遠の家族として結ばれているという知識から得られる幸福感です。」

彼女の模範を見た父親も、2008年にバプテスマの水に入り、その1年後には家族を連れて神殿に行き、結び固めを受けました。

「福音の中で子供たちを育てることに加え、最もすばらしいと感じている祝福は、永遠の結婚という救いの儀式を受けたという知識から来る喜びと平安です」とルーカス・ロマノは語ります。「妻や子供たちと一緒にいると、その幸福感が新たにされ、転がる雪の玉のように、その幸福感は大きくなり続けています。結婚し、家族を築き始めたことを主に感謝する思いは、日に日に増しています。」

マリナ・オーガスティンはそれに加えて次のように語ります。「家族を持つのはすばらしいことです。学ばなければならないことも多く、難しいと思えるときもありますが、それでもすばらしいことです。」■

「もし永遠の<sup>ほんりよ</sup>伴侶を望むとしたら、完全な人を探す必要はありません。しかし、主に祈り、助けを願い求めなければなりません。また、教会に忠実であり続ける必要があります。」  
ウシュアエア地方部のロベルト・イグナシオ・シルバ会長はヤングアダルトのメンバーに語ります。  
彼らの多くが(写真上)その勧告を心に留め、アルゼンチン・ブエノスアイレス神殿で結婚しました。



中央扶助協会会長  
ジュリー・B・ベック

# 扶助協会の 歴史

# 娘たちに 対する 主の展望

永遠の命を求める  
わたしたち  
神の娘は、  
先人の模範によって  
鼓舞され、  
自信をもって  
前進することができます。

**わ** たしたちが中央扶助協会会長会として召されたとき、扶助協会の歴史に関する資料を渡されました。わたしたちは主がわたしたちに何を学び、何を行うよう望んでおられるのか知ろうとして、祈るような気持ちでこれを研究しました。その結果、末日聖徒の女性たちには霊的な力と貢献という豊かな伝統があることが分かりました。それは、主がその娘たちとどのようにかわり、彼女たちに何を望んでおられるかを記したすばらしい記録でした。わたしたち会長会は、研究と、その結果得られた靈感により、扶助協会の目的を知ることができました。永遠の命という祝福を受けるのに備えて、主はその娘たちに**信仰と個人の義を増し加え、家族と家庭を強め、助けを必要としている人々を見つけて助けるように望んでおられることを知りました。**現代の姉妹たちが祈りの気持ちでその歴史を読むとき、わたしたち会長会と同じように物事の本質を理解し、答えと靈感を受けるでしょう。

扶助協会の歴史と業を研究するとき、天の御父が過去にどう姉妹たちを助けてこられたか理解していただきたいと願っています。御父がどのように助けてこられたかを学ぶとき、御父は現代のわたしたちをも助けてくださるとい<sup>あかし</sup>証が得られるでしょう。100年以上前に一人

の女性を導いてくださったのなら、現代の女性をも同じように導いてくださるに違いないと、聖霊を通して知ることができるでしょう。

中央扶助協会第2代会長のエライザ・R・スノー姉妹は、力強く忠実な初期の指導者でした。彼女は、御霊が「人の心が抱くすべての望みをかなえ、むなしい心を満たしてくれ[る]」ことを理解していました。生涯の様々な時期に健康上の問題や寂しさに苦しみました。しかし、個人の啓示を受け、それに従ったとき、強められました。個人の啓示を受け、御霊を常に伴侶とする<sup>ほんりよ</sup>ことは、彼女にとってまるで泉のようでした。「この泉からわたしたちの魂に絶え間なく御霊を注いでもらえるような生活を送るのは、わたしたちの特権ではないでしょうか。」<sup>1</sup>

わたしたちの歴史の至る所に存在するこのような例から、個人の啓示を受けてそれに従うことが、この世でわたしたちが得られる最も重要な能力であることを思い出すことができます。それがあれば、失敗はあり得ません。また、それがなければ成功はあり得ません。

**扶助協会の歴史は今日<sup>こんにち</sup>の世界中の姉妹たちにとって重要です。**

歴史をひもとけば、力強く、義にかなった、忠実で、献身的な女性が大勢登場します。この受



## 信仰と 個人の義を 増し加える

女性に与えてきました。そして、自らの信仰の火と聖約の力を呼び起こし、現世の経験において模範となれるようにしてくれたのです。すべての国で、教会の設立と末日聖徒の家庭を強める助けをなした女性たちの中に、信仰の受け継ぎが見られます。

中央扶助協会会長第一顧問のシルビア・H・オールレッド姉妹は、母親のヒルダ・アルバレンガについて話したことがあります。アルバレンガ姉妹は30代で改宗したばかりのとき、エルサルバドルの支部の扶助協会会長として奉仕するように召されました。彼女は、自分が経験不足で備えができておらず、力不足であると支部会長に話しました。それでも、支部会長は彼女を召しました。その召しで奉仕している間に指導者に必要な能力を身に付け、教えること、人前で話すこと、集会や活動や奉仕プロジェクトなどを組織することなど、幾つも新たな賜物<sup>たまもの</sup>を手に入れることができたのです。彼女は支部の会員たちが王国を築く者になるよう助けました。<sup>2</sup> 過去と同様に

け継ぎはエバから始まりますが、このような女性たちの物語は、わたしたち一人一人のものであり、わたしたちに将来への展望を与えてくれます。義にかなった献身的な女性という、この受け継ぎを引き継いでいこうとするなら、彼女たちの業績をさらに積み重ねていかなければなりません。歴史を研究することにより、わたしたちは教会の女性たちには力とすばらしい潜在能力があることを学びます。それは主イエス・キリストとその回復された福音を信じる信仰によるものです。その信仰が、正しい選択をして試練や困難を克服する力を

に今も、天の御父はその娘たちがすべてのワードあるいは支部において指導的役割を果たすことを望んでおられます。ヒルダ・アルバレンガのような姉妹たちが、将来の世代のための開拓者や模範となりつつあります。

**生活の中で多くのプレッシャーを感じている現代女性は、歴史から助けを得られます。**

会長会として世界中を旅行し、姉妹たちの家庭を訪れてきました。姉妹たちが抱える困難を目にし、彼女たちが



## 家族と家庭を 強める

信仰を増し加え、家族を強めて、人に仕えることは、扶助協会が組織された当時と同じように現代でも大切です。

歴史を見れば、義にかなった女性たちが生活の中で前進し、安定を得るための力の源は、強い信仰であることが分かります。イエス・キリストの贖罪しよくざいを信じる信仰はわたしたちを癒いやしてくれるだけでなく、困難なことを実行し、模範的な生活を送る力を与えてくれます。いつまでも絶えることのないキリストの純粋な愛である慈愛のおかげで、女性たちが非常に困難な試練をも見事に堪え忍べたことを歴史は教えています。神の意思に自らの意思を添わせる選択をするとき、わたしたちの信仰は増し、より義にかなった者となります。そして、平安を感じます。御心みこころに添わないときは罪の意識を感じます。それは、悔い改めて神の意思に添う者となるよう、御霊がわたしたちに語りかけているのです。霊的に強くあり続けるために、わたしたちが日常的に使う原則

味わっている悲痛な苦しみについて知りました。多くの姉妹が途方に暮れています。毎日の祈りや聖文学習、また生活の中で御霊が感じられるようなことを行う時間を取るのが難しいと感じている人たちもいます。時代はますます困難になり、わたしたちは永遠の目標から目をそらさせようとする信条や行動に取り囲まれています。周りの人々に大きな影響を及ぼす立場にあるわたしたち女性は、霊的な強さを保つために全力を尽くさなければなりません。

扶助協会の歴史は、わたしたちが重要なことに焦点を当て、自らの行動に優先順位をつけるうえで助けとなります。わたしたちは毎日、信仰を増して家族を強める選択をする機会が与えられます。60年以上前、中央扶助協会第9代会長のベル・S・スパフォードは姉妹たちに、自分の関心がどこにあるかを吟味し、行っている活動を評価し、そのうえで生活を簡素化するように努力し、永続的な報いのあることを大切に、それほど価値のない活動は避けるように求めました。<sup>3</sup> この助言は今日でも有益です。歴史を学ぶことにより、わたしたちは必要な展望こんにちを得て、生活を永遠に祝福するのに不可欠な事柄に焦点を当てられるようになります。

が悔い改めです。

歴史から、強い家族が偶然の産物でないことを学ぶことができます。的確に、意図的に、そして決意をもって主の計画に添って生きるというのは、今日の世の中では意識的に行う信仰に満ちた選択です。周囲の人々を強め、すべての家族を養うことは、信仰に満ちた、慈愛の奉仕なのです。

歴史には「貧しい人に慰めを与え」「人々を救う」ことを実践した模範的な姉妹が大勢登場します。<sup>4</sup> エイミー・ブラウン・ライマンは第二次世界大戦中に第8代中央扶助協会会長として奉仕しました。ライマン会長は姉妹たちに、信仰を強め、困難にめげずに持ちこたえるよう助言しました。家庭を安全な場所にすることに姉妹たちの焦点を移し、生活の優先事項とするようにしたのです。<sup>5</sup>

扶助協会に入ると、すべての姉妹は素晴らしい世界に広がる女性組織の一員となり、主の弟子として一つになります。そのときから、同じように聖約を守り、主の王国の建設のために全力を尽くすという固い決意を共有する人々とともに参加するようになるのです。

## 困っている人々を 見つけ出し、 助ける

**歴史を通して、わたしたちと神権の切り離せない関係について理解が深まります。**

主はその息子たちと娘たちに重要な業を用意しておられます。神権定員会と扶助協会は主の業を行います。預言者ジョセフ・スミスはこう言っています。「わたしは女性たちを神権の下に、神権の規範ならに倣ならって組織します。」<sup>6</sup>

過去と同様に今も、扶助協会会長はビショップまたは支部会長の指示の下に働きます。彼らがワードまたは支部を導く神権かきの鍵かぎを持っているからです。

第11代中央扶助協会会長のバーバラ・W・ウィンダーはこう言っています。「わたしは皆が一致団結し、神権者と協力し、今日ここに神の王国を建設するために働くことができるよう切に望んでいます。」<sup>7</sup>

さらに、姉妹たち一人一人が救いに必要なすべての儀式を受けて聖約を結べること、そうすることで彼女たちが現世と永遠における自分の使命を達成できるという知識を持っていることは、非常に大切です。姉妹たちは各々、聖霊を常に伴侶はんりよとすることができます。聖霊は姉妹たちに導きと慰めを与え、姉妹たちの義なまものになつた行いを支持して下さいます。また、姉妹たちは霊の賜物を受け、それらの賜物により、自信を得て、守りを受けて生きていくことができます。わたしたちの歴史は、姉妹たちが過去にこれらの祝福をどのように活用したのかを教えてください。

**歴史を知ることで、永遠の命の祝福に備えられるようになります。**

昔の扶助協会の姉妹たちが困難な時期を経験したことをわたしたちは知っています。しかし、今、わたしたちも敵と戦っています。その敵は、わたしたちの信仰と家族を破壊して、わたしたちを孤独と苦しみに陥れようと固く決意しているのです。扶助協会の歴史は、わたしたちの行っているすべてのことの意味を教えてください。救い主みわざは御業を



進める助けをするよう、預言者ジョセフ・スミスを通じてこの神権時代の女性たちを召されました。

歴史を通して、わたしたちは自分が何者であるかを知り、天の御父の計画の中でわたしたちに非常に重要な役割が与えられていることを知ります。わたしたちはそれらの責任をだれかほかの人に委任することはできません。天の御父はわたしたちを御存じで、愛しておられるので、わたしたちが自らの意思を御父の意思に添わせようと努力するとき、わたしたちを支えて下さいます。「そして、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる」のです(2ニーファイ31:20)。■

### 注

1. エライザ・R・スノー「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』、第4章で引用
2. 「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』6章参照
3. 「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』序参照
4. 「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』2章参照
5. 「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』5章参照
6. ジョセフ・スミス「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』2章で引用
7. バーバラ・W・ウィンダー「わたしの王国の娘」——扶助協会の歴史と業』8章で引用

## 約束が成就しました

2009年に行われた神権会と扶助協会の合同集会でのことです。大祭司グループリーダーから、ステーク会長会はすべての成人会員が1年以内に「家族ネーム」を1枚用意して神殿に行くよう望んでいると説明がありました。そして、会員が目標を達成できるように支援するステークとワードのプログラムが紹介されました。最後に、大祭司グループリーダーは家族歴史プログラムに対する責任を負う者として、もしステークの目標を達成しようと努力するなら、わたしたちはきっと成功を収めるだろうと約束しました。

集会后、その約束について妻と話しましたが、わたしには当てはまらないだろうというのが二人の意見でした。わたしたちはすでに40年をかけて、わたしのすべての家系を調べていたのです。わたしの

検討を重ねて  
3日がたったとき、  
系図表の最後の世代にいる  
人物の一人について、  
ある具体的な資料を  
当たってみよう  
靈感を受けました。

先祖は見つけるのが難しく、ここ数年はあまり成果が上がっていませんでした。これ以上できることはないと思っていました。にもかかわらず、それからの数日間、グループリーダーの約束が心の中でこだまし続けました。そこで、わたしはその約束を信じて先祖を捜すことにしました。自分の系図表をじっと見詰めながら、何ができるか考えました。

検討を重ねて3日がたったとき、系図表の最後の世代にいる人物の一人について、ある具体的な資料を当たってみよう靈感を受けました。インターネットで調べてみると、半日もしないうちに、その名字を別の人がイギリスのある教区で調査していたことが分かりました。その人が捜し出していたいちばん最近の人物の一人が、

わたしの系図表の最後の世代にいる人物だったのです。その人の情報を用いて、系図をさらに5世代伸ばして1650年までさかのぼることができ、また数人の女性の旧姓と、数人の兄弟姉妹の名前を追加することができました。妻とわたしは驚き、とても喜びました。

それからしばらくして、わたしは高祖父についての情報をインターネットで探し始めました。高祖父は行方が分からなくなっていたようなのですが、調べるとすぐに情報が見つかりました。最初の妻の死後間もなくアメリカ合衆国ペンシルベニア州からウィスコンシン州に移っていたことが分かったのです。ウィスコンシン州の記録から集めた情報を基に、家族歴史に400人以上の名前を加えました。

後に、アメリカの独立戦争や南北戦争で戦った100人の先祖を見つけました。6つの家系を1600年代までたどることができました。

それまでの40年にわたる調査で、系図表に65人の名前を、データベースには3,000人近くの名前を記録していました。一方、大祭司グループリーダーがあ約束をしてからの20か月で、系図表に70人以上の名前を、データベースには1万7,000人以上の名前を追加することができ、その中には2人の合衆国大統領も含まれていました。

主は御自身の言葉は「すべて成就する。わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである」とおっしゃっています（教義と聖約1:38）。その言葉のとおり、権能を持つ神権指導者を通して靈感によって与えられた天の御父の約束が成就しました。■

テッド・ベインブリッジ  
(アメリカ合衆国、コロラド州)

## みたま 御霊が わたしを通して 語られました

フランス・トゥールーズ伝道部で働く召しを受けたとき、外国で伝道し、新しい言語を学ぶことに胸が高鳴りました。フランス語を勉強したことはありませんでしたが、すぐに話せるようになるだろうという自信がありました。

宣教師に任命されたとき、異言の賜物を授かるようステーク会長が祝福してくれました。この祝福によって、フランス語をすぐに習得できる自信が深まりました。

ユタ州プロボの宣教師訓練センター(MTC)に着いたときには勉強を始めたくて仕方がなかったのですが、MTCでの時間を通して謙遜にさせられました。毎日打ちのめされ、もがき苦しみました。MTCを出発するとき、フランス語がほとんど上達していないと感じました。異言の賜物はいつ授かるのだろうと思いました。

最初に割り当てられた伝道地はフランス南部の小さな町でした。任地に着いてわずか数日後のある午後のこと、同僚とわたしは街頭伝道をしていました。人々と会話する際、わたしはあまり何も言いませんでした。相手の言うことがほとんど分からず、相手もわたしの言うことがほとんど理解できなかったからです。

わたしたちはある女性に声をかけ、同僚が教会について話し始めました。女性は数分ほど耳を傾けた後、突然わたしの方を向いて言いました。「あなたの話も聞かせてください。」

わたしは覚えたことを必死に思い出そうとしました。そして震える声で、天の御父とモルモン書について簡

女性は数分ほど耳を傾けた後、  
突然わたしの方を向いて言いました。  
「あなたの話も聞かせてください。」



単に証しました。するとそのとき、自分が言ったことは真実であると、御霊がわたしに証してくださいました。相手の女性が何かを感じたかどうか分かりませんが、彼女はほほえむと、再び同僚の方を向き、話を続けるように頼みました。

この経験を通して大切なことを教わりました。フランス語が上手に話せなくても、御霊はわたしを通して語ることがおできになることを学びました。また、恐らくステーク会長から受けた祝福は、実は御霊の言葉を語るができるようにという祝福だったのだろうと思いました。

トーマス・S・モンソン大管長は次のように教えています。「すべての宣教師に共通した言語があります。それは御霊の言葉です。それは学者の記した手引きから学べるものではありませんし、読んだり暗記したりするこ

とから得られるものでもありません。御霊の言葉は、神を知ってその戒めに従いたいと心の底から願い求める人に与えられます。この言語に精通した人は、様々な障害を打ち破り、問題を克服して、人の心に触れられるようになります。」(『霊は人を生かす』『聖徒の道』1997年6月号、3-4)

あれから何年もたちますが、この経験は今でもわたしに影響を与え続けています。もうフランス語で福音を宣べ伝えるよう求められることはありませんが、教会でレッスンを教えたり話をしたりするよう頼まれたときには御霊の助けが必要です。自分の思いが伝わっていないのではないかと感じるとき、御霊は神のすべての子供たちの心に語ることがおできになることを思い起こすと元気が出ます。■

クリスティー・ラッシュ・パンズ  
(アメリカ合衆国、ユタ州)

## 神殿が 閉鎖になって しまいました!

**わ**たしたちは2009年7月7日に神殿で結婚する予定で、その日を心待ちにしていました。二人ともナイジェリア・アバ神殿の近くで育ち、自分たちはすでに引っ越ししましたが、まだその地域に多くの友人や家族が住んでいるので、神殿か、その後の披露宴に出席してもらえるのを楽しみにしていました。

ラゴスから6時間以上かけてアバに到着し、結び固めと披露宴に向けて最後の準備をしました。ところが結婚予定日の3日前、追って通知があるまで神殿が急に閉鎖することになったと知らされました。わたしたちはひどく動揺し、当惑しました。地域の情勢不安のために閉鎖した神殿がいつ再び開館するか、だれにも分かりませんでした。失意の中、友人や家族に結び固めが延期になったことを伝え、神殿の結び固めをいつ改めて予定できるかも分からないまま、残念な思いでラゴスに戻りました。

ラゴスに戻ったわたしたちは、ナイジェリア・アバ神殿が開館するよう熱烈に祈りました。再開の日について何の知らせもなく1週間が過ぎました。この1週間がわたしたちには1年のように思えました。神殿で結婚し、友人や家族と祝える日が一日も早く来ることを願いながら待ちました。

再開の日に関する知らせのないまま時間がたつにつれて、わたしたちは別の選択肢を検討するべきだと感じるようになりました。ナイジェリアにはナイジェリア・アバ神殿しかないので、早く結び固めを受けたければ、ガーナ・

わたしたちの結婚を  
いつも懐かしく思い出すでしょうし、  
その物語を  
決して忘れないでしょう。



アクラ神殿まで行かなければなりません。残念ながら、その旅費はありませんでした。でも、ずっと神殿結婚をするつもりでしたし、前に進むべきだということは分かっていました。

家族や友人からお金を借りて、パスポートを準備し、ガーナ・アクラ神殿に予約の電話をし、ガーナに行く航空券を購入しました。

2009年8月14日、わたしたちはアクラに到着し、翌日、神殿に行きました。結び固めの部屋で、同席してくれたのは神殿の結び固め執行者と二人の証人だけでした。友人も、家族も、わたしたちの知っている人は一人もいませんでした。しかし、知らない国で、故郷から遠く離れた地で、自分たちがいるべき場所において、行うべきことを行って

いることはよく分かっていました。儀式の間、永遠の力を感じ、天の御父がわたしたちと御父のすべての子供たちに対して抱いておられる愛を、よりはっきりと理解しました。

悲しいことに、妻は2010年、最初の子供を出産した後に亡くなりました。妻がいないのはとても寂しいですが、神殿で結び固められていることを思い起こして大きな慰めを得ています。都合の良い時を待って神殿結婚を延期しなくてよかったと、永遠に思い続けるでしょう。わたしたちの結婚をいつも懐かしく思い出すでしょうし、その物語を決して忘れないでしょう。■

チネドゥ・エンウエレウソ  
(ナイジェリア、ラゴス)

## 仕事が見つかるでしょうか

**夏** 休みの仕事で得た収入のうち、まだ最終週の給与の什分の一を納める必要があることに気づき、わたしは手の中の折り畳んだ紙幣を見詰めました。納めていない什分の一は90ランド、持っていたのは100ランド札1枚でした。

ちょうど医学校で最終学年が始まり、授業料などたくさんの出費があったところでした。わたしはその場で腰を下ろし、100ランド札をいじりながら、什分の一を納めることについて考えました。夏休みの仕事はすでに終わっていて、自分の多忙なスケジュールに合う仕事など見つかりそうにありません。しかし、両親から什分の一を完全に納めるように教わっていました。このお金は主のものであり、わたしはそのことを知っていました。そこで、お金を封筒に入れて、什分の一を納めました。

それから数日間、仕事を探しながら、天の窓が開かれるように祈りました。スケジュールに合い、少ない時間で十分な収入が得られて、なおかつ勉強の時間を取れる仕事が必要でした。つまり、奇跡が必要だったのです。

2週間後、友人からある病院の仕事に応募してみるよう勧められました。その病院には、新たにわたしたちの医学校が教育を行う場が設けられていたのです。わたしは事務室に行き、ドアをノックしました。中にいた女性は2年前にわたしたちのクラスを教えた人で、わたしのことを覚えてくれていました。

「こちらの新しいプログラムで講師を採用する予定がないかと思ひまして」

と、わたしは言いました。「もしあれば、応募したいのですが。」

「実は、あるんですよ」と、女性は答えました。「医学部2年生のグループを午後に1時間指導してくれる人を探しています。開始時刻は自由で、毎日異なる患者について調べて、それから学生に教えてもらうことになります。できますか。」

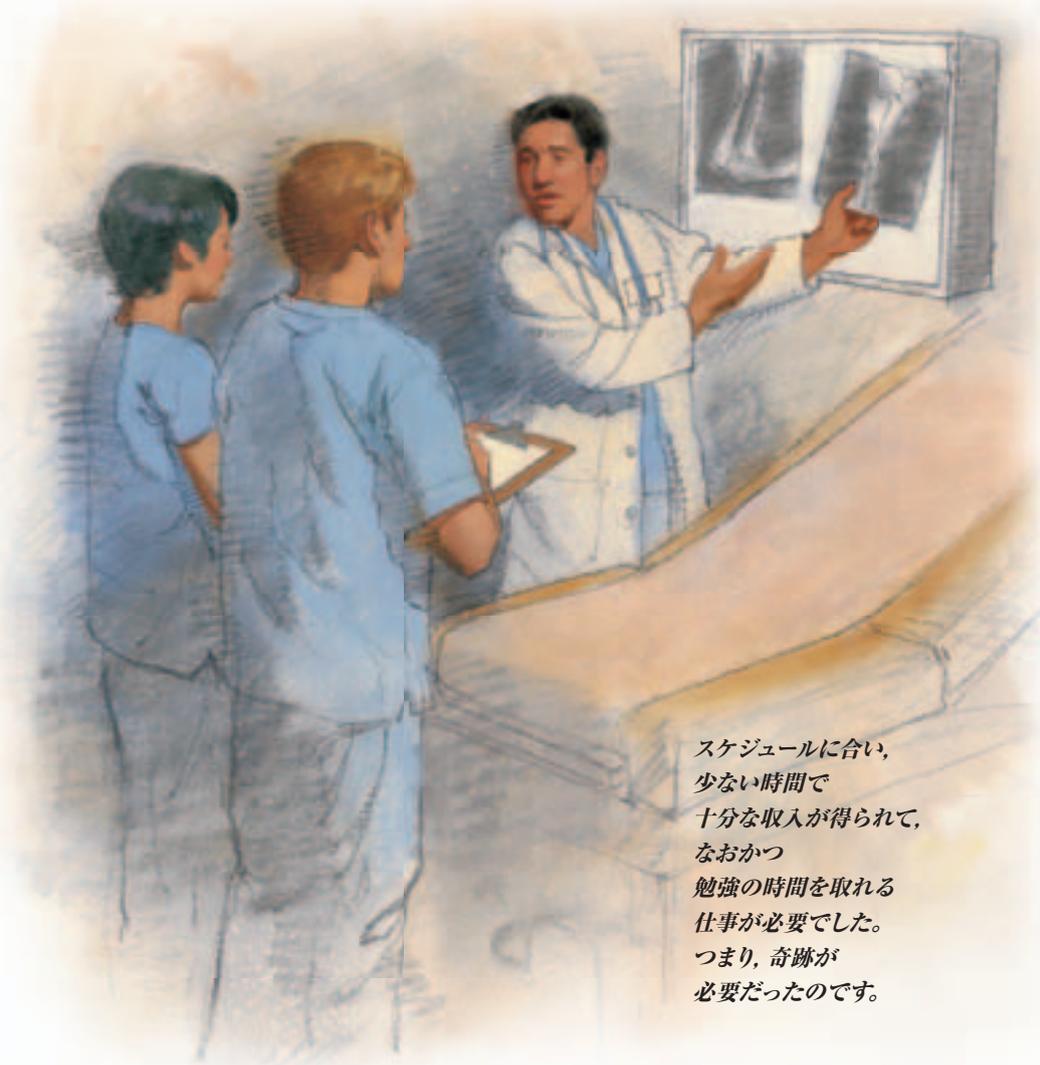
主の助けによって、まさに必要とされていた仕事が見つかったのです。これ

こそ祈りの答えでした。

仕事を始めて1か月後、自分がどんなに祝福されているかを知りました。小切手を見ると、月給が予想を3倍も上回る額だったのです。さらに、休暇手当も受け取りました。

主は天の窓を開き、想像も及ばないほど大きな祝福を注いでくださいました。この経験を通して、什分の一の原則に対する信仰が強まりました。■

グレッグ・バーゴイン(南アフリカ)



スケジュールに合い、  
少ない時間で  
十分な収入が得られて、  
なおかつ  
勉強の時間を取れる  
仕事が必要でした。  
つまり、奇跡が  
必要だったのです。

# 奉仕する勇氣



現代の預言者は、ふさわしく、能力があるすべての若い男性に専任宣教師として奉仕するよう勧告しています。若い女性が専任宣教師として奉仕することも歓迎しています。全世界のヤングアダルトがこの呼びかけにこたえています。預言者の勧告に従うには信仰と勇氣が必要です。伝道に出る決心をするときや伝道の準備を進める過程で妨げとなるものが出てきても、それを乗り越えて力強く成長していった話を、若い帰還宣教師たちが語ってくれました。その幾つかを紹介します。

## 決心を貫く

**わ**たしは21歳になると、伝道に出たいという思いに駆られるようになりました。伝道に出ることなど考えたこともありませんでしたから、自分でも意外でした。神権指導者から祈るよう言われ、祈りました。

答えは非常にはっきりとしたものでした。わたしが伝道に出ることを神が望んでおられることが分かったのです。最初はこの奉仕のことでうきうきしていたのですが、伝道に出るのは思ったより大変でした。

上司はなぜ18か月も休職するのか分かってくれず、伝道の準備という理由で休みを取ることも認めようと

しませんでした。わたしは上司から最後通告を言い渡されました。「残るか、辞めるか、君の判断に任せる。」伝道前の数週間、職がないのはとても心細かったのですが、わたしは仕事を辞めることにしました。

医療関係の要件を満たすのも大変でした。教会で伝道に出るときに必要な健康診断の用紙を出身地のロシアで見せたところ、こんなものは見たことがないと言って、医師は署名してくれませんでした。

このような障害にぶつかる度に、自分の決断は正しかったのかと迷いました。やめようと思ったことも何度かあります。しかし、このように迷ったときには祈りの答えを思い起こすよう

にしたので、伝道に出る決心を貫くことができました。結局、これらの問題もほかの問題も解決しました。

わたしはロシアのサクトベテルブルク伝道部に召されました。伝道部では最初の2、3か月苦勞しました。でも、伝道の準備で障害に取り組みながら学んだことを生かして、問題を乗り越えることができました。伝道を通して、また、伝道の準備で味わった苦勞を通して、主の助けがあれば難しいことも達成できることをわたしは学んだのです。

エレナ・オグネバ・アンダーソン  
(アメリカ合衆国、ユタ州)

## わたしの命は 御父のもの

18歳になると、ワードやステークの多くの会員から伝道に出るべきだと言われました。伝道に出る準備は常にしていたのですが、このようなプレッシャーは気持ちのいいものではありませんでした。

大学1年の授業はすぐに始まりました。よく勉強したおかげで、わたしは奨学金を獲得してドイツに留学することになりました。ドイツはわたしが生まれ育ったメキシコとはまったく勝手が違いましたが、文化になじむにつれ、言葉の習得も速くなりました。

そうこうするうちに、ヨーロッパの名門企業の正社員になる話が舞い込みました。すると突然、伝道に出ることが望みではなく、義務になってしまいました。その会社に入って、この世の成功を収めることができたらと考えたのです。

ある雪の降る日のことです。わたしは友人のメラニーとハイデルベルクまでドライブしました。数時間もすると、幹線道路は雪で覆われ、しかもわたしたちは眠けに襲われました。時速100キロをやや超えるスピードで走っていたとき、赤信号で止まらずにバスに衝突してしまったのです。

意識が戻ったとき目に入ったのは、警官と救急車と、泣いているメラニーの姿でした。わたしはまだ大破した車の中にいました。自分たちが生きることが分かると、何とありがたいことかと涙が出ました。わたしは祈り始め、わたしたちの命を助けてくださったことを天の御父に感謝しました。

しかし、新たな恐怖に襲われました。足を動かすことができなかったのです。

病院に運ばれる途中、看護師の話し声が聞こえました。脊髄に損傷があれば、恐らく二度と歩けるようにはならないだろうと言っています。わたしは心から天の御父に祈りました。自分の命は自分のものではないことを悟ったわたしは、まず命を助けてくださったことにもう一度感謝しました。そのうえで、こう約束したのです。「足が無事で、歩けるのであれば、わたしは伝道に出て全身全霊で働きます。」

病院に来て4時間後、うれしい診断結果が出ました。また歩けるようになることが分かったのです。伝道に出ることにはもう何のためらいもありませんでした。それどころか、神が生きておられること、神が天の御父であられること、そして、神は人生に奇跡を起こすことができるということ<sup>あかし</sup>を証したくてたまらない気持ちでした。

この経験の後、誘いのあった会社には就職しないことに決めました。自分の時間も自分が持っているどのようなものも、すべて主のものだということが分かったのです。2年間はその時間のほんの一部です。それをささげて主に仕えることに、何のためらいがあるのでしょうか。

卒業後、わたしはドイツ、フランクフルト伝道部に召されました。伝道中は、天の御父のことを証しました。天の御父が生きておられること、わたしの御父であられること、わたしを守ってくださることを知っています。御父はわたしに命を与えてくださいました。そして、この命はどんなときでも御父のものなのです。

マホーニー・ゴンザレス(メキシコ、モレロス)



## 気が変わりました

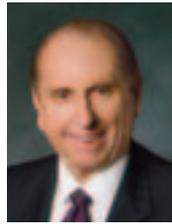
**わ**たしは21歳で、美容院の共同所有者でした。教会では初等協会のクラスの教師をしていました。生活は順調でしたが、何か落ち着かないものを感じていました。ほかにやることのあるような気がしていたのです。でも、それが何なのかまったく分かりませんでした

ある日曜日、ビショップに声をかけられました。部屋に呼ばれ、伝道に出ることを考えたことはないかと尋ねられたのです。思ってもいないことだったので、ほんとうに驚きました。わたしは教会員になってまだ2年しかたっていませんでしたし、伝道に出ることなど考えたこともありませんでした。

伝道は自分には向かないと思うとビショップに言いました。部屋を出るとき、ビショップはこう言いました。「では、気が変わったら教えてください。」話はこれで終わったと思ったのですが、ビショップの言葉は耳について離れませんでした。

果たして自分は伝道に出られるのだろうかと自問しました。家族の中で教会員はわたしだけです。家族はどう感じるのでしょうか。美容院の共同所有者の権利はどうしたらよいのでしょうか。1年半もの伝道が、わたしに務まるのでしょうか。

このような問いを考えていると、ふと、モルモン書が読みたくなりました。わたしはモルモン書を手に取り、アルマ書の第8章を開きました。アルマとアミュレクが伝道に出て行ったときのことを読んでいくと、自分にも「神の言葉を告げ知らせる」必要がある



### 主の助けが得られる

「中には自分は恥ずかしがり屋であるとか、奉仕の呼びかけにこたえるほどの人物ではないと思う人がいるかもしれません。これは主の業であり、主の用向きを行うときには主の助けが得られることを思い起こしてください。主は、背中に置かれる重荷に耐えられるようにしてくださるでしょう。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「主は宣教師を必要としておられます」  
『リアホナ』2011年1月号, 4

ことが分かりました(30節)。次の日曜日、考えが変わって伝道に出たくなったことをビショップに告げました。

家族は協力的で、美容院の共同所有権も売ることができました。わたしはベネズエラのカラカスで伝道し、主のために懸命に奉仕しました。その祝福は今でも刈り入れています。

ジェシカ・バクシス  
(アメリカ合衆国、アイダホ州)

## 福音への改心、そして伝道

**わ**たしは教会員の家庭に生まれ育ち、ずっと伝道に出るつもりでいました。しかし、伝道に出る年齢に近づくと、自分も力強い改心を経験してみたいと思うようになりました。教会に入る人が語るような改心です。

伝道に出るには犠牲が必要だということは分かっていました。わたしは収入の良い仕事に恵まれていましたが、伝道から帰ってからも同じように良い仕事が見つかるかどうかは分かりません。大学を休学するのも、家族や友人と別れることも心配でした。

でも、伝道に出るのが正しいということは心の奥底で分かっていたから、準備は続けていました。

その準備の一つとして、わたしは地元の長老たちと一緒にレッスンに行きました。ある晩、宣教師と知恵の言葉のある男性に教えたのですが、この原則は受け入れてもらえませんでした。家を出るとき、長老たちは肩を落としていました。わたしも悲しくなりました。

なぜ自分が悲しくなったのかよく分かりませんでした。相手はまったく知らない人だったからです。でも、よく考えてみて分かりました。わたしが悲しく思ったのはレッスンに御霊<sup>みたま</sup>があったからです。自分に大きな喜びを与えてくれたものが拒否されたので、わたしは悲しみを感じたのです。

こう考えたとき、自分がほんとうの意味で改心していることに気づきました。わたしは福音が真実であることを知っていたのです。それを人に伝えたくてたまらなくなりました。わたしがイタリア、ローマ伝道部に召されたのは、それから間もなくのことでした。

伝道の準備のために犠牲を払いましたが、そのおかげで豊かな祝福を頂きました。多くのすばらしい人に福音を教え、生涯の友を見だし、英語も話せるようになりました。帰還してからも祝福は続きました。帰還すると、伝道前に勤めていた職場に再び採用され、しかも昇級までしたのです。

しかし、最大の祝福は、福音に対する証が強くなったことでしょうか。伝道中、わたしはほかでは考えられないほど霊的に成長しました。このことにわたしはこれからも感謝し続けるでしょう。■

マルコ・ブランド(イタリア)

# わたしたち「成長するわたし」 家族の

ヒラリー・スローター、  
エリッサ・J・カーカム

**「時**には、一人の人が周りのすべてを変えることができます。まず自分から始めるなら——自分から始める勇気があるなら——周りにあるものすべてはやがて、落ち着くべきところへ落ち着くことになるでしょう。」こう語るのはウクライナ、キエフのカーチャ・カラシニコワです。

ボスクレセンスキーワードのカーチャ・カラシニコワとイワンナ・ルバンチュークは、信仰と「成長するわたし」を通してその勇気を見いだすことができました。それは、家族を強め、神殿に行く備えをなす機会となったのです。

## 変化を起こす

カーチャとイワンナの家族はどちらも1992年にウクライナ・キエフ伝道部が組織されて間もなく教会員となりましたが、二人がバプテスマを受ける年齢に達するころには教会に来なくなっていました。

イワンナの家族は彼女が13歳の

ときに引っ越しましたが、新しい家は末日聖徒の礼拝堂の近くでした。イワンナを連れて礼拝堂の前を通る度に、母親は教会が人生にもたらしてくれた良いことを思い出していました。彼女はイワンナに教会に行くよう勧めました。「一般の世の中とは違って、教会は娘に良いことしか教えないことを母は分かっていたんです」とイワンナは言います。彼女は教会に出席し活動に参加するようになり、宣教師から福音を学び始めました。宣教師にバプテスマを受けますかと聞かれたとき、受けることに同意しました。

## カーチャの経験

15歳のカーチャが近所の青少年グループと一緒に出かけた旅から帰って来たときのことです。父親から、宣教師を呼んで彼女に教えてもらうようにしてあると聞き、驚きました。でもそこではっきり言われたことは、彼女が宣教師の話聞くのはかまわないが、自分は興味がない、ということでした。

カーチャは宣教師と会う時間を決めました。次のように話しています。「話を聞いて、これは正しい道だと感じました。子供のとき、教会で感じた気持ちを思い出したんです。しばらくして、バプテスマを受けようと決心しました。」

## 個人の成長

教会の会員になることで、二人の若い女性には幾つか変えなければならなかったことがありました。そのとき役に立ったのが「成長するわたし」です。カーチャはそのときのことを思い出して話してくれました。「わたしはまだ成長の途中でした。変えなければならぬ習慣がありました。服装さえ変える必要があったんです。『成長するわたし』に助けられて、わたしは少しずつ変わっていきました。教会だけではなく、毎日の生活の中で神の娘になる力を得ました。」

「成長するわたし」を通してイワンナとカーチャは、祈りや聖文の研究、適切なメディアを見ることなど、彼女たち自身を霊的に強める習慣を身に付けることができました。また、レッスンを教えたり人に奉仕したりする方法も学びました。全体的には、神に近づき、家族のさらに良い模範となる助けとなりました。

「『成長するわたし』は役に立ちました。一つ割り当てを終える度に成長できて、知識と勇気が増しました。家族のほとんどが教会の活発な会員ではないので、わたしにとって特に貴重で

カーチャ・  
カラシニコワは  
「成長するわたし」に  
取り組むことで  
知識を身に付けました。  
その影響を受けた両親は、  
ともに教会に  
出席するようになりました。  
右ページ——  
ウクライナ・  
キエフ神殿の前の  
カーチャと  
友達のイワンナ・  
ルバンチューク。



「成長するわたし」が力となって、  
ウクライナ、キエフに住む  
二人の若い女性が  
自分自身と家族の生活を  
変えることができました。



した」とイワンナは話してくれました。

### 模範によって導く

「成長するわたし」を通して変わることができたイワンナは、家族の良い模範となりました。「今までずっと、両親はわたしが変わっていく様子を見ていました。二人はわたしが教会に行くことをとても喜んでいました」と彼女は言います。彼女は教会や活動に独りで参加していましたが、ある日、母親と一緒に<sup>せいさん</sup>聖餐会に行く決心をしました。今二人は一緒に教会に行っています。

カーチャの模範も家族の生活に影響を与えました。カーチャが教会員となって間もなく、母親と一緒に教会に来るようになり、次に父親も来るようになりました。二人の若い女性の家族はともに、「成長するわたし」と教会の活動がカーチャとイワンナに及ぼした変化に気づいたのです。娘が幸せになるのを見、自分たちも同じ喜びを得たいと思ったのです。

### 主の宮に入る

カーチャと家族の喜びはさらに大きくなっていきました。カーチャが

「成長するわたし」に取り組んでいて気づいたことがありました。それは、「成長するわたし」が神殿の大切さに重点を置いていることです。彼女は当時を振り返ってこう話します。「一つの項目全部が神殿に行くことについて書かれている箇所があるんです。心から神殿に行きたいと思いましたが、両親はまだ準備ができていませんでした。」

しかし、彼女はセミナーの仲間たちと神殿に参入することができました。そのときのことを思い出して、こう語ります。「初めて神殿の業に参加してほんとうに幸せでした。また行きたいと思いました。家族と一緒に行って、永遠の結び固めを受けたいと心から思いました。」

カーチャの家族は準備し、とうとう神殿に行く備えができたと感じました。カーチャは初めて神殿に行ってから2年後、再び神殿に行くことができました。しかも今度は家族と一緒にです。「神殿が確かに、家族が永遠になる場所だということが分かりました」と彼女は言います。家族はドイツ・フライベルク神殿で結び固められたのです。

イワンナは、自分が家族に模範を示すことができたのは、「成長するわたし」の助けがあったからだと言います。今、イワンナは母親と一緒に教会に出席しています。



### 霊的な力をはぐくむ

「若い女性のプログラムにも、若い女性の霊的な強さを増し加え、支援の手を差し伸べる機会をわたしたちに与える同様の力強いパターンがあります。『成長するわたし』のプログラムは、若い女性たちが神殿の儀式を受ける準備をするうえで役立っています。若い女性は母親、祖母そして教会で周囲にいる義にかなったあらゆる女性の模範によって助けられています。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長  
「彼らが天の家に戻れるよう助けてください」  
『リアホナ』2010年5月号、25

### 信仰を持ち続ける

カーチャとイワンナは教会に感謝しています。二人とも教会から得たものから、特に「成長するわたし」から恩恵を受けました。「わたしには『成長するわたし』の証<sup>あかし</sup>があります。『成長するわたし』はわたしたちをもっと強くしてくれました。そして、日々の生活のあらゆる面で完全になる助けになりました」とカーチャは話します。

イワンナは、若い女性と教会の組織は、宣教師になる備えをするための助けになっていると感じています。彼女は伝道活動に積極的です。こう言っています。「勇気を失わないで、教会によって人生がこんなに変わるんだ、という模範になってください。わたしたちは教会で幸せです。だれだって幸せになりたいって思っているんです。だから連れて来てその幸せを見せてあげれば、その人たちはわたしたちの模範について来ます。いつでも、少しずつその人たちを助けて、仕えていたら、いつかすばらしいときに、彼らの準備が整うのです。」■

# 一つの言葉と 生涯の教訓

教会機関誌  
ヘザー・リグリー

高潔さとは、  
だれにも見られていないと思うときに  
正しい行動を取ることです。

**戸**外の温度は華氏 115 度 (摂氏 46 度) に達し、猛烈な暑さでした。アメリカ合衆国カリフォルニア州のプロローレーにある農場では、それが夏の普通の暑さなのです。わたしが運転する大型給水車がまた動かなくなりました。この 4 日間でもう 3 度目です。わたしはタイヤをけりつけました。娯楽のためや学校に着て行く服を買うために、さらにこれからの大学進学費用を賄うためには、夏のアルバイトが必要でした。暑いからといって仕事を早く切り上げたくありませんでしたが、この様子ではまたそうしなければならないようでした。

同じワードの会員で家族みんなの友人デビッドが、給水車の様子を見に製粉所から歩いて来ました。いらいらした気持ちを彼に吐き出したくて、ある言葉を言いたい誘惑に駆られました。人が腹立ち紛れに使うのを聞いたことのある言葉です。実際に口にしようとした瞬間、自分で悪いと分かっている言葉を言うてはいけないという思いが頭をよぎりましたが、一瞬のうちに払いのけてしまいました。だれも気がつかないだろうと思ったのです。わたしはその言葉を



トーマス・S・モンソン大管長  
「幸福な人生の探求」  
『聖徒の道』1988 年 8 月号, 6

## 高潔さと 自尊心

「高潔な人格を備えているかどうかは、その人が自分の自尊心を傷つけるようなことを言ったり、したりするかどうかを見ることで、最もよく判断できるのではないのでしょうか。」

口にしてしまいました。でも、気分はちっとも良くなりませんでした。

わたしを見上げたデビッドは、後でできるときに父と一緒に給水車を修理すると言ってくれました。わたしはそれまでの間、残りの時間でできる仕事を見つけました。

一日が終わり、父のトラックに乗り込み、帰途に就きました。道路に出てしばらくすると、父はわたしの方を見て、給水車が故障したときわたしがどのように反応したかデビッドから聞いた、と言いました。あの汚い言葉のことも全部です。「デビッドは、お嬢さんの口からあのような言葉が出てくるとは思いもしなかったと言っていたよ。」父は言いました。「彼はおまえのことをもっと立派な娘だと思っていたんだね。」

うなだれて、たちまち涙が出てきました。どう思われるか気になる人たちの目から見て、自分をおとしめることをしてしまったのです。でも何よりも、自分自身に失望し、神も同じ思いでおられると思いました。あの言葉を言っても気分が良くならなかった理由はこれだったのです。

あの言葉だけでなく、神がお喜びにならない言葉は二度と口にしないと約束しました。父やデビッドに恥ずかしく思われたくないからではなく、それが正しいことだからです。高潔さとは、だれにも見られていないと思うときに正しい行動を取るのだということ学びました。■

# わたしは神の子供でしょうか

バレリー・シェンク

## 旧約聖書の

ある一節にヒントを得て、

わたしは神から受け継いだ特質を  
理解できるようになりました。

**大** 学生だった21歳のとき、真理を探していたわたしは宣教師から福音のメッセージを聞くことがうれしく、ゆっくりでしたが心から受け入れていきました。わたしは教会員となりましたが、家族の中で教会に入ったのはわたしだけでした。

教会員となって1年ほどたち、日々証あかしが強くなっていることは分かっていましたが、何か足りませんでした。自分が神の子供であることが分からなかったのです。

わたしが神を万物の御父として受け入れたことはほんとうです。しかし、神が御自分の創造物の一つ一つをどれほどよく御存じなのかは分かっていませんでした。自分にこう問いかけました。「この世界にこんなにたくさんものがある中で、神様がわたし個人のことを知っておられるなんて、どうしてそんなことがおできになるのだろうか。どうしてわたしを御自分の娘だと思ってくださるのだろうか。どうしてわたしを御自分の子供として愛することがおできになるのだろうか。」

このような疑問を胸に抱きながら、天の御父に祈りました。それから間

もなく、聖文を研究していたとき、偶然歴代志上第28章9節を見つけました。ダビデ王が息子に語っている場面です。「わが子ソロモンよ、あなたの父の神を知り、<sup>まった</sup>全き心をもって喜び勇んで彼に仕えなさい。主はすべての心を探り、すべての思いを悟らせるからである。あなたがもし彼を求めるならば会うことができる。しかしあなたがもしかれを捨てるならば彼は長くあなたを捨てられるであろう。」

今に至るまで、聖文の中でこの聖句ほどわたしを天の御父に近づけたものはありません。この聖句は、わたしが神の娘であるということだけでなく、もし神を求めるなら、神を見い出すことができることを証したのです。また、わたしが神から受け継いでいる特質についても証しました。それまで、自分が神の子供であることを心からは信じ切っていませんでした。真実であってほしいという希望はありましたが、天の御父がそれほど愛の深い御方であることは理解できなかったのです。わたしの心の奥底にある考えや願望を知り得る御方がおられるなど、とても理解できませんでした。わたしには欠点があり、たくさん間違いも犯しました。それを分かっていたので、神の愛を受け入れることができなかつたのです。

この聖句でわたしはたくさんのことを学びました。まずダビデです。自らも多くの間違いを犯したダビデが息子ソロモンに、主を求め、誠心誠意

主に仕えるよう勧めています。父親の勧告を自ら実践することで、ソロモンは主を見い出すことができました。この言葉を読んだとき、天の御父と個人的な関係を築きたいという、わたしの中にあつた強い願いが呼び覚まされました。天の御父の愛に満ちた方法について、わたしはさらに学んでいきました。ダビデとソロモンのように、わたしも神に見いだしただけを知りました。わたしは神との関係を強めていきました。この聖句はわたしに生きるための法則を与え、わたしはそれが真実であることを知ったのです。

わたしは、天の御父がわたしを個人として御存じであることを知りました。さらにこの聖句の研究を続けるうちに、「主はすべての心を探り」という一節が心にしっかりと植え付けられました。この聖句を読む度、聖霊がわたしの心に、天の御父はすべてを、「すべての思い」さえも知っておられるとささやきました。御父が創造主であられるだけではなく、愛に満ちたわたしのお父様であり、わたしは御父に愛されている子供であることが分かりました。わたしはようやく神がわたしを御存じであることを受け入れたのです。神はわたしの心の中の考え、願望、夢、希望、恐れ、意思、そして何よりも大切な、わたしの思いを御存じです。この地上における両親がわたしを知っていると同じように、いえ、もっと深く、神はわたしを知っておられます。こうしたことを理解して、わたしは自分が神の子供であるという証を得ました。■



### 天の御父に 愛される娘

「若い女性の小冊子『成長するわたし』の1ページにはこうあります。『あなたは天のお父様の愛する娘で

あり、神聖かつ栄光に満ちた目的のためにこの特別な時代に生を受けるように備えられました。』(冊子, 2009年, 1)

姉妹の皆さん、この言葉は真実です！おとぎ話に出てくる空想ではありません！永遠の天の御父が皆さんを知り、皆さんに耳を傾け、見守り、無限の愛で愛してくださることを知るのとは素晴らしいことではないでしょうか。事実、御父は皆さんをととも愛しておられるので、この世の人生を『昔々』で始まる貴い賜物として与えてくださいました。皆さんは、冒険、試練、偉大な機会、高貴なこと、勇気、愛といった自分だけの実話で、この人生という物語をつづっていくのです。何よりも素晴らしいのは、御父が、わたしたちの理解を超える、計り知れない価値を持つ賜物を与えようとしておられることです。天の御父は、永遠の命という最も大いなる賜物、機会、そして皆さん自身の『末永い幸せ』という祝福を与えようとしておられるのです。

しかし、そのような祝福は代価なしには与えられません。望むだけでは手に入らないのです。自分自身が何者であるかを理解し、この賜物にふさわしくなるためにどのような人間にならなくてはならないかを理解することによってのみ、この祝福を受けることができます。」

大管長会第二顧問  
ディーター・F・ワークトドルフ管長  
『末永い幸せ』  
『リアホナ』2010年5月号, 124 - 125

# 学び, 行い, 分かち合う



教会機関誌  
アダム・C・オルソン

**ヒ** ラマン・アヤラは忍術（日本の武術）が大好きです。メキシコシティー・テカマクステーク、アシエンダワードのこの祭司は、学んだことの練習に多くの時間を費やしてきました。様々な技を見せてほしいと友人から頼まれることもよくあります。

ヒラマンは音楽も好きで、ギターを

神への務めを  
果たすうえで  
かぎ  
鍵となる3つの言葉

習っています。「でも、練習の時間があまりないのでそれほど上達していません。人前で弾くこともあまりありません」と言います。

ヒラマンは、学んだことを練習して分かち合うことの大切さを理解しています。「知るだけでは不十分です。行わなければなりません」とヒラマンは語ります。「何かを学んでも、それを実践しなければ自分の益とはなりません。そして、分かち合うことは、学んだことを自分のものにするのに不可欠です。」

これこそ、ヒラマンが新しい「神への務め」を気に入っている点です。「『学び、行い、分かち合う』という概念が好きです」と語ります。「この概念は大いに役立ちました。さらに知り、学んだことを応用することにより<sup>あかし</sup>証が強まりました。」

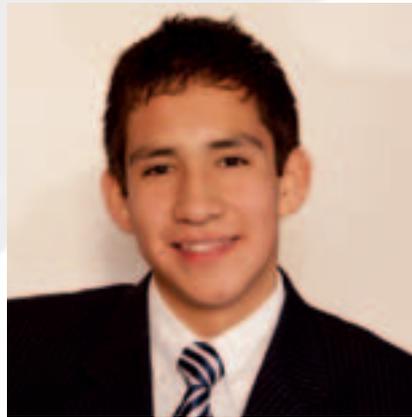
ヒラマンは救いの計画を例に取ります。救いの計画は何度も耳にしてきた教義です。「でも、自分自身で学ぶことにより、天の御父がわたしたちを愛しておられることを知りました。聖霊が心に触れてくださり、わたしは御父の愛が真実だと心で感じました。天の御父が御子をお送りになるほどにわたしを愛してくださっていることを感じるようになったのです。」

「神への務め」の目標を立て、目標に向かって取り組むヒラマンは、両親の助けに感謝しています。「両親はわたしを励まし、わたしが忘れているときに思い出させ、目標を立てたかどうか尋ねてくれます」とヒラマンは語ります。

ワードのビショップであるヒラマン

の父親は、時間を取ってヒラマンを助けます。「父は、わたしが分からないことを理解できるよう助けてくれます」とヒラマンは語ります。「父も母も、その点でよく助けてくれています。」

若い男性が設定するよう求められている「神への務め」の目標は自分自身のためになる、とヒラマンは語ります。「神への務め」はヒラマンの信仰を強め、誘惑に立ち向かううえで助けとなってきました。また、将来への備えをするうえでも役立っています。「この小冊子は、メルキゼデク神権を受ける備えに役立ち、宣教師に必要なとされる多くの事柄を教えてください。」



学ぶ目標を立て、学んだことを実践し、人と分かち合うことにより忍術が上達したのと同様に、「人生において進歩するためには、目標を設定し将来に目を向ける必要がある」ことをヒラマンは知っています。

両親の助けを受けながら「神への務め」を活用しているおかげで、ヒラマンは良いスタートを切りました。■



### 勤勉と信頼

「数週間前、執事になったばかりの兄弟がこの勤勉の道を進み出すのを見ました。彼の作った図表を父親が見せてくれました。

そこには礼拝堂のすべてのいすと、聖餐のパスの割り当てを受ける一人一人の執事の番号と、礼拝堂で会員に聖餐を配るときの経路が示されていました。父親とわたしは、だれかに頼まれたわけでもないのに神権の奉仕を確実に果たす計画を立てた少年のことを思っただけでほほえみました。

この少年の勤勉さは、新しい『神への務め』小冊子の規範に従うものです。その規範とは、主の期待を知り、その期待にこたえる計画を立て、計画を勤勉に遂行し、その経験が自分を変えてくれたことや、人を祝福したことについて人と分かち合うというものです。……

皆さんは神が皆さんに寄せておられる信頼の大きさを感じれば感じるほど勤勉になるでしょう。『神への務め』の中に大管長会から皆さんへのメッセージがあります。『天の御父はあなたを深く信頼しておられて、あなたが果たすべき大切な使命を用意しておられます。祈りによって御父に心を向け、御霊の促しに耳を傾け、戒めを守り、交わした聖約を守るときに、御父はあなたを助けてくださいます。』（『神への務めを果たす——アロン神権者用』〔小冊子〕5）

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長  
「まったく勤勉に遂行する」  
『リアホナ』2010年5月号, 60-61

# お父さんと 取り組む「神への務め」

教会機関誌

ポール・バンデンバーグ

「神への務め」を  
実践するための助けは、  
身近なところにあります。

**ア**レックス・ミラーは、ブリ  
ティッシュコロンビア州バ  
ンクーバーステーク、ノース  
ショアワードの執事定員会会長です。  
昨年新しい『神への務め』の小冊子  
についてファイヤサイドで学んだと  
き、アレックスは早速取りかかりたい  
と思いました。アレックスと父親は、  
毎週日曜日に一緒に小冊子の一つの  
項目に取り組む計画を立てました。

「父と一緒に毎週じっくりと小冊子  
の項目を学んでいます」とアレックス  
は語ります。「祈りにより始め、内容  
を学び、聖句を読みます。項目ごとの  
質問に答え、学んだことを実践する方  
法を書き留めます。」アレックスはし  
ばしば、父と取り組んでいる内容を母  
に伝えます。「<sup>せいさん</sup>聖餐と聖餐の祈りの  
意味について母と話し合いました。  
それから、母にとって聖餐がもっと有  
意義なものになるために自分が執事と  
してどのように助けることができるか、  
アイデアを書き留めました。」

「神への務め」について父と定期的  
に話し合い始めてほんの数週間後、  
アレックスは生活に変化が起きている  
ことに気づきました。「とても良い



## 未来が招いています

「若い男性の皆さんは、アロン神権  
者として熱心に奉仕することにより、  
将来、メルキゼデク神権を受け、宣  
教師となり、聖なる神殿で結婚する備え  
をしているのです。」

皆さんは、アロン神権定員会アドバ  
イザー、そして定員会の仲間のことを  
永遠に忘れ[ない]でしょう。……

アロン神権の若い男性の皆さん、  
未来が招いています。備えてくだ  
さい。天の御父の導きが常に皆さん  
にありますように。神権を尊び、召し  
を尊んで大いなるものにしようと努  
めるときに、主の導きが皆さんととも  
にありますように。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「最善を尽くして義務を果たす」  
『リアホナ』2005年11月号、59

気持ちができるんです」と語ります。父  
との話し合いは、必ずしもいつもア  
レックスが日曜日の午後に最も行い  
たいことではありません。「でも、一  
緒に学び、読み始めると、とても楽し  
くなり、やってよかったと思います。」

アレックスは新しい目標を立て続け  
、父と一緒に研究し学びながら、福  
音に対する理解を深めています。  
『「神への務め」のある項目で、『若人  
の強さのために』の中から5つの  
テーマを学び、それぞれのテーマごと  
に目標を設定し向上を図るよう提案  
されています」とアレックスは説明し  
ます。「わたしは正直を選びました。  
そして、何か誤ったことをした場合に  
自分の胸にしまわず両親に知らせる  
という目標を立てました。」

アレックスが選んだもう一つのテー  
マは教育です。「わたしの目標は、  
1か月間授業中にふざげず、やるべき  
ことをすべて学校で終わらせて宿題  
を残さないことです。今のところ順調  
にこなしていて、時間に余裕ができま  
した。」

アレックスは今、彼が会長を務める  
定員会のすべての執事が神への務め  
を果たせるよう励ましています。また、  
小冊子を開いて取りかかろうとしてい  
る若い男性にはいつもこのように助言  
しています。「とにかくやってみて。  
独りでは取りかかれないと思ったら、  
ほくみたいにお父さんに一緒にやっ  
てもらうといいよ。」■

# 定員会 への電話

マーク・テンスマイヤー

ワードのある家族を手伝っていましたが、すべてを行うには助けが必要でした。

刈り込むなど、ほかにもやろうと決めました。

当然のことながら、すべてを3時間で3人の子供の面倒を見ながら行うことはできません。そこで、わたしは祭司定員会の会員に

連絡するべきだと思いました。ただ問題が一つだけありました。実は、定員会の人たちと特に仲が良いというわけではなかったのです。それなりにうまく付き合っていたはいましたが、教会を除いて共通点がほとんどありませんでした。学校が違うため、教会の活動以外で会うことはめったにありませんでした。こういうことで電話をかけるのは気が引けました。

わたしは若い男性の会長に電話をかけ、一緒に助けを募ってほしいと頼みました。すると会長は、自分はアドバイザーにすぎないのでわたしがピーターに電話をしてはどうか、と優しく答えました。ピーターはビショップの第一補佐であり、わたしが神権の責任を果たすのを助ける召しを受けています。それは、まさにわたしが恐れていた答えでした。

少しためらい、どきどきしながらわたしはピーターに電話をかけ、来てくれないかと尋ねました。「もちろん」とピーターは言ってくれました。さらに「スコットとケビンと一緒にいるから、二人も連れて行くよ」と言ってくれたのです。

わたしたちは一緒に芝生を端まで刈り込み、皿を洗い、家を片付けました。ちょうど終わろうとしていたころ、スティーブンス兄弟と姉妹が帰って来ました。

この経験から、関心事や性格、環境に違いがあっても、神権定員会がイエス・キリストへの信仰と奉仕で一つに結ばれていることを学びました。■

**あ**る土曜日の午後、ホームティーチング先のある家族の父親から電話がかかってきました。「妻と一緒に妻の祖母に会いに行く間、子供たちを見てもらえないかな」とスティーブンス兄弟（仮名）は言いました。「祖母の体調が思わしくなくて、これが彼女に会える最後の機会になるかもしれないんだ。」

わたしは喜んで助けると請け負いました。「よかった。それから、もしできたら家の中を片付けておいてもらえるかな。今日はわたしたちの結婚記念日なんだ。」

わたしが到着すると、スティーブンス兄弟と姉妹は電子レンジで作れる<sup>めん</sup>麺と、家の用事のリストを残して車で出かけて行きました。わたしは、子供たちを見ているだけではなく、もっとすべきだと強く感じました。その日はスティーブンス夫妻にとって大変な日だったので、少しでも助けになりたいと思ったのです。リストに書かれている用事をすべて行い、さらに皿洗いや、芝生を端まで



# さらに大きな 目標

教会の活動に誘うことは、  
「キリストのもとに来るようにすべての人を」招くという  
神権の務めを果たす助けとなります（教義と聖約 20：59）。

ネレイダ・サンタフェ・デ・サリナス

**わ**たしが所属するベネズエラ・サンクリストバルステークでは、アロン神権を持つ青少年のサッカートーナメントを開催することになりました。この活動には、友情を築くことやそれぞれの神権定員会を強めることなど、幾つかの目的がありました。

それぞれのワードまたは支部に所属する若い男性のみが参加できること、また、年齢別にチームを作れるよう、新会員やあまり活発でない会員の参加を促すべきであることをステークの指導者から伝えられました。わたしたちのタリバワードには、執事が二人と教師が一人、祭司が数人いるだけでした。

## チームを作る

わたしの息子のホセ・フランシスコは皆から愛情を込めて「フニオル」と呼ばれています。フニオルは、仲良しのオスカル・アレハンドロとともに執事定員会に所属しています。サッカートーナメントに参加するには明らかに人数が足りません。そこで、宣教師とワードの指導者と協力して、あまり活発

でないすべての青少年を探しました。毎週、これらの若い男性を探し出し、働きかけ、信頼を得るために時間を費やしました。この二人の12歳の少年の努力により、チームを作るのに必要な若い男性を集めることができました。二人の努力の結果、ワードに活発に集う青少年が増えるという奇跡が起こったのです。

週日、二人は新しい友人を迎えに行っては町の広場で練習しました。とても大変で、みんなくたくたになっていました。指導を受ける機会も戦略もほとんどありませんでしたが、やめませんでした。楽しんで練習していました。

## トーナメントの開始

とうとう大会の初日がやって来ました。わたしたちのワードの勇敢な執事たちはステークセンターに到着しました。ほかの多くのチームとは違い、応援してくれる観衆や助けてくれるコーチはなく、ユニフォームもありません。しかし、熱意と一致、愛をもってプレーしました。

初戦は大敗しました。しかしあきらめませんでした。「タリバワードの男の子たちはとても良い模範だ」と

言って、ステーク全体が彼らを応援し始めました。

フニオルはゴールキーパーでした。あまりに一生懸命にゴールを守ったため、手にボールをブロックした跡が残りました。その晩家で、手がとても痛むのでグローブが必要だとフニオルは言いました。わたしたちは貯金を下ろしてグローブを買うことにしました。しかし、店に置いてあったグローブは値段が高すぎて買うことができず、園芸用の軍手を買うしかありませんでした。フニオルは心から感謝しながら受け取ってくれました。

チームが戦い続けたいと思った理由が何であったのかは分かりません。順位は最下位でしたが、プレーをやめませんでした。

ついに予選が始まりました。ステークに執事があまりいなかったため、この勇敢なチームは決勝戦に出ることができましたが、対戦相手は一流選手がコーチを務める、よく鍛えられたチームでした。このコーチは多くの時間をチームに費やしてきました。チームはそろいのユニフォームを持ち、トレーニングを積んで統制の取れた最強のチームでした。息子の



チームが強くなかったため、コーチは恐らく試合に勝てると確信していたことでしょう。

ちょうど夫が出張から帰って来て、執事たちの手伝いを買って出ました。夫はチームを励まし、助言しました。すると、驚いたことにその試合に勝ったのです。そしてもう一つのステーキのチームと対戦することになりました。何と、この若い男性たちはまた勝ったのです。

試合が終わると、みんなが拍手をしてくれました。この若い男性たちが

執事の部で優勝し、ステーキの全アロン神権チームの中で3位に入賞したことに観衆は驚きました。

#### 目標を達成する

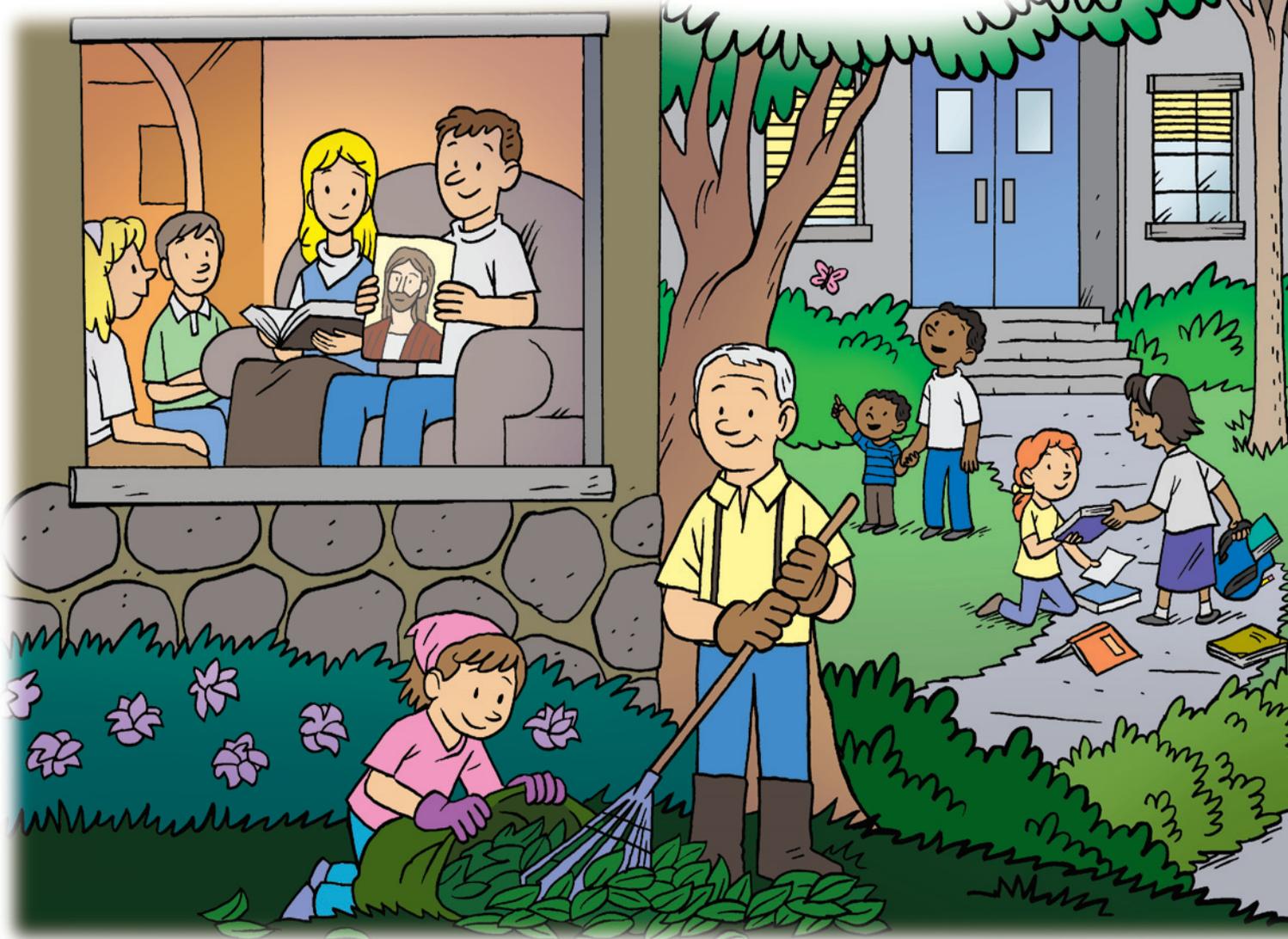
この経験から、わたしたちはこの世の生活で役立つ原則と永遠の真理を

学びました。ステーキの若い男性は、愛や活発化、根気、熱意、チームとして協力することの模範を示してくれました。活動のほんとうの目的を明らかに示してくれました。友情のきずなを築いたのです。■

# かぞく つよ ひと 家族を強める人になる

自分が所属するすべての家族について考えたことはありますか。ここにのっているものはすべて大切に、あなたの成長を助けてくれる家族です。下の絵の中から、それぞれの家族について、あなたができることを二つずつ選んでみましょう。

「家族を強めるため努力しよう」  
 (「わたしの永遠の家族」  
 『2009年度 分かち合いの時間、  
 ならびに聖餐会での  
 子供の発表の概要』, 10 - 11)



## てん とうさま かぞく 天のお父様の家族

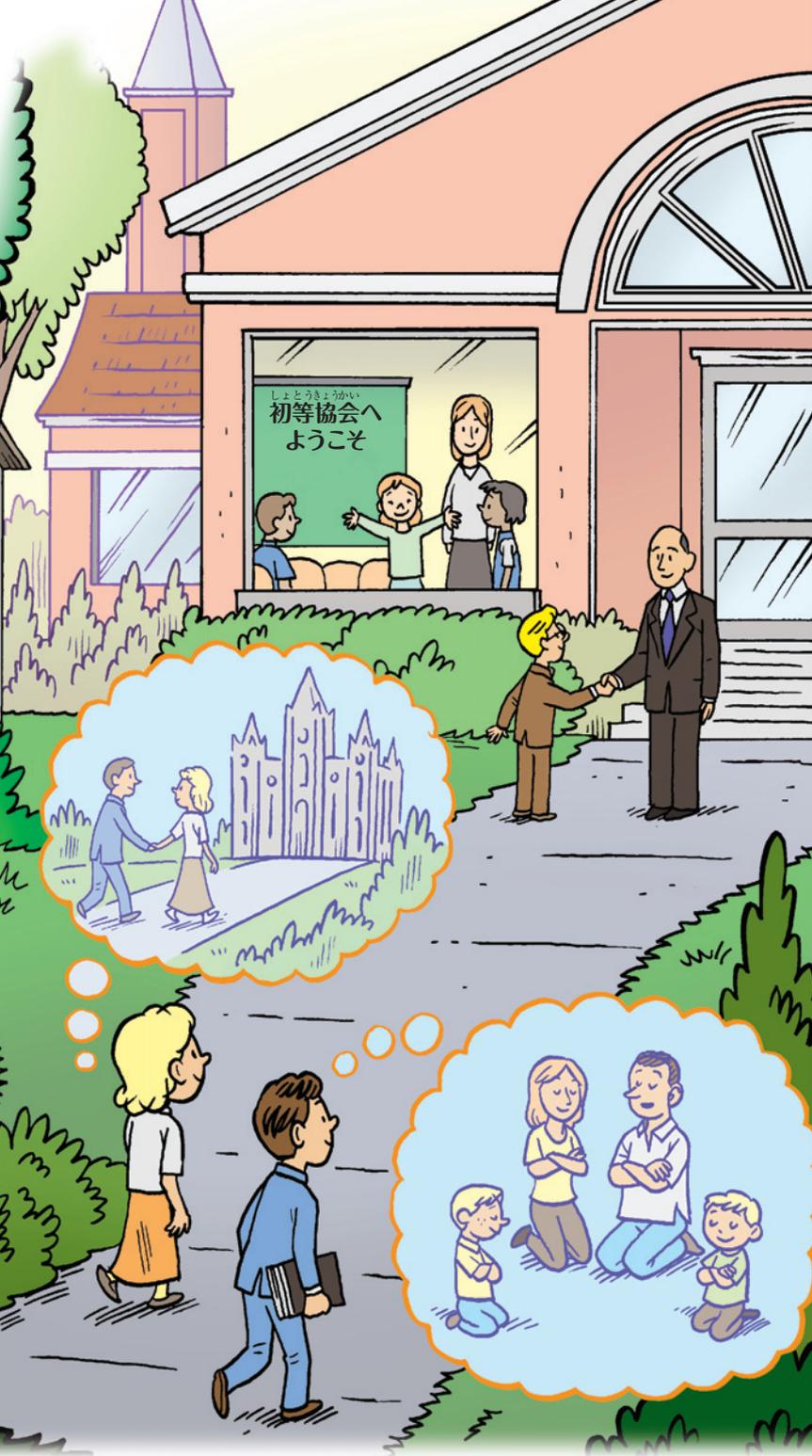
あなたには完全で不死不滅の天の両親がいます。お二方はあなたを完全に愛し、人生で起こるすべてのことを御存じです。みなさんはいつまでもこの家族の一員であり、天のお父様のれいの子供たちはすべてそうなのです。つまり、地球上のすべての人が、あなたのれいの兄弟しまいなのです。

## あなたのかぞく あなたの家族

みなさんのお母さん、お父さん、兄弟、しまいは、みなさんがいちばんよく知っている人たちです。天のお父様は、みなさんを家族のもとへ送っていただきました。それは、みなさんが、みなさんのことを愛し、教え、みなさんが成長できるように助けてくれる人と一緒にいられるようにするためです。

## あなたのおんせき あなたの親戚

みなさんのおじいさんやおばあさん、いとこ、おばさん、おじさんはすべてあなたの親戚です。このように、みなさんには愛する人がたくさんいるのです。



**あなたの将来の家族**

いつかみなさんが結婚する人やみなさんの子供は、このとても大切な家族の一員となります。神殿で結び固めを受け、家族で福音を实践し、自分の家族が永遠に一緒にいられるようにしましょう。

**あなたの教会の家族**

みなさんのワードや支部の教会員はおたがいを気にかけて、助け合おうとする家族のようです。教会の会員はイエス・キリストの福音にあずかるバプテスマを受けているので、おたがいを「兄弟」や「しまい」と呼びます。世界中の教会員はすべて一つの大きな家族なのです。■

# 死者のためのバプテスマを 受ける準備

エリッサ・J・カーカム

**12** 才になると、神殿に行き、福音を受け入れる機会がなかった人たちのためにバプテスマと確認の儀式を受ける機会があるかもしれません。神殿に入り、そこで聖霊を感じるよう準備をするには次のようなことができるでしょう。

## 準備する方法

- イエス・キリストを信じる信仰を持つ。バプテスマを受け、教会の会員として確認される。男性ならばアロン神権を受けていること。
- いましめを守り、良い選択をする。間違ったことをしたときは、くいを改める。
- ビショップ、または支部会長と面接をする。あなたがふさわしければ、神殿の限定すいせん状をもらうことができます。
- 可能ならば、家族歴史を調べる手伝いをし、神殿に「家族ネーム」を持って行けるようにする。
- 聖文や、教会の出版物（『リアホナ』2010年10月号など）を研究し、神殿の働きを理解する。

## 神殿に入る当日

- 教会に行くときの服装をする。清潔にし、身だしなみを整える。
- 聖文や、教会の機関誌を読んだり、霊的な気持ちを高める音楽を聞いたりする。
- 神殿の中にいるときは、聖霊を感じられるようにいのる。
- 神殿に向かうときには、敬虔な気持ちをもたげられるような本や電子機器、音楽などは持って行かない。

## 神殿の中で

- 着がえるための白い服をわたされます。白は純粋さと清さの象徴です。

- バプテスマフォントでは、ほかの人が死者のためのバプテスマを受けているのを見ることができてもありません。
- 待っている間、いのったり瞑想したりできます。神殿は天のお父様に近づくことができる特別な場所です。
- すでに身代わりのバプテスマをほどこしてもらった人々のために確認の儀式を受けます。
- あなたが身代わりとなってバプテスマや確認の儀式をした人たちのことや、あなたが神殿で奉仕したことによってその人たちが受けられる祝福について考えてみてください。■



# 福音がもたらす幸福

「主をほこって喜ぼう。まことに、わたしたちの喜びは満ちているので、喜びを味わおう。」(アルマ26:16)



カルロス・A・ゴドイ長老へのインタビューから(聞き手—ジェーゴブ・フルマー)



ていました。教会に着いたとき、何人かの教会員が簡単なゲームをしていました。その人たちがとても幸せそうに見えたので、そのことが気になりました。「どうしてあんなに幸せなんだろう」と不思議に思いました。

答えは宣教師から話を聞いたとき、そしてバプテスマを受けたときに分かりました。改宗によってわたしの人生、子供たちの人生、そしてわたしの子孫や先祖の人生は変わりました。

教会の教えから外れた行いが幸せをもたらすことはありません。それは笑いやひとときの楽しみをもたらすかもしれませんが、ほんとうの幸せは福音の中にあるのです。

たとえ友達からばかにされることがあったとしても、原則をかたく守るあなたを見て尊敬するようになるでしょう。

両親はみなさんを愛しています。みなさんにしてほしいと言うことがどんなことであろうと、それは、みなさんにつらく当たろうとしているからではありません。みなさんを守りたいとおもってそうしているのです。いつも両親や福音、そして福音によって人生にもたらされる幸福に感謝してください。■

**14** 才のとき、わたしの学校は教会の向かいにありました。白いシャツを着た男性たちがその大きな建物に出入りしているのを見て、中で何をしているのだろうとおもっていました。

ある日、友達とサッカーをしようとしたとき、学校のグラウンドには空いている場所がありませんでした。

そのときだれかが「教会で遊ぼう。教会には外で遊べるいい場所があるんだ」と言いました。

2年後、わたしの兄弟の友達の一人が妹を末日聖徒イエス・キリスト教会にさそってきたので、わたしも一緒について行きました。教会の中でどんなことをしているのかをついに知ることができると、わくわくし

# わたしたちのページ

おいのりをすると こわさや いたみが  
すぐに なくなります

**あ**る にちようび、びょうきの ねこが いえに  
はいつて きました。おおきくて へんな  
こえで なき、いえから しようと しません  
でした。ねこが こわかったので おいのりをする  
ことに しました。おいのりが おわるまえに お  
かあさんが ねこを いえの そとに だしてくれま  
した。

おかあさんは さいきん しゅじゅつを うけまし  
た。しゅじゅつが うまく いくように ぼくは よ  
く おいのりを しました。びょういんから かえっ  
てきた おかあさんは からだが いたいと、いっ  
て ないていました。おかあさんに「おいのりを  
してほしい?」と きくと、おかあさんは そうして  
ほしいと、いいました。ぼくは ひざまずいて お  
かあさんの いたみが なくなるように てん  
のおとうさまに おいのりしました。おいのりが お  
わると おかあさんは にっこりして、ぼくを だき  
しめて キスしてくれました。

てんのおとうさまが あいの ある  
やさしい おかたであることを しっ  
ています。そして こわいときや  
いたいときに、てんのおとう  
さまに おいのりを すると こわ  
さや いたみが すぐに なくなる  
ことを しています。

ヒラマン・F, 5さい (ブラジル)

ヒラマンと  
10才の おにいちゃん、  
エズラ



ミラグロス・T, 11才, ベルー



郭・J, 10才, 台湾



ベルーの ポマルカステーク、トゥマンワードの しょとうきょうかいの こどもたちは  
しょとうきょうかいが はじまるまで けいけんにして まっています。

「わたしたちの ページ」に 絵や しゃしん、けいけんだんや あ  
かし、手紙を おくりたい人は、けんめいの ところに「Our  
Page」(わたしたちの ページ)と書いて、電子メールで おくって  
ください。おくり先は [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) です。

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3歳から12歳に限  
る)、それに親の名前、ステーク/地方部、ワード/支部名を明記し、  
親の許可書(電子メールでも可)を添えてください。お送りいただい  
た原稿は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために、編集さ  
れることがあります。

すばらしい  かんがえ 考え

こども

「しんでんが  
み 見えている あいだ 間は  
みち けって 道を  
み 見うしなうことは  
ありません。」

ゲリー・E・スティープソン長老 長老  
「聖なる家庭, 聖なる神殿」『リアホナ』2009年5月号, 101

シロタケ・トビ・藤



今月の テーマについて もっと 学ぶために  
この レッスンと かつどうを つかうと いいでしょう。

# ふくいんは ぜんせかいに のべつたえられます



アナ・マリア・コバーン、  
クリスティーナ・フランコ

「この ふくいんは  
あらゆる こくみん、ぶぞく、  
国語の たみ、みんぞくに  
のべつたえられる であろう。」  
(教義と聖約 133:37)

**イ** エス・キリストの まことの  
教会に 行くことによつて  
みなさんが うけている  
しゅくふくを うけている人が せかい  
中に ほとんど いないことに 気づ  
いたことは ありますか。たくさんの  
人が 自分が 天の お父さまの 子  
どもであり、おいのりすると こたえて  
くださることを 知りません。また、ふ  
くいんによつて うけられる しゅく  
ふくについても 知りません。天の  
お父さまは わたしたちが みんなに

ふくいんをつたえることを のぞんで  
おられます。

ふくいんを 聞く ひつようの ある  
ひと 人が とても たくさん いるので、せ  
んきょうしが せかいの さまざまな  
ところで ほうしするように めざされてい  
ます。せんきょうしは、天の お父さま  
と イエスさまの ところへ もどつて  
いっしょに くらすために その ひとたち  
が 知る ひつようの あることや 行  
う ひつようの あることを 教えます。

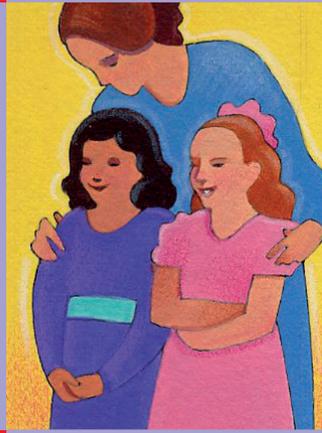
トーマス・S・モンソンだいかんちょう

は 今 まだ 小さくても  
せんきょうしに なる  
じゅんぴが できると 言  
いました。友だちを 教会や  
かつどう、かていの夕べに さそ  
うことができます。今 せんきょう  
しに なるための いちばんの ほう  
ほうは 友だちに あいを しめし、  
よい もはんと なることです。

## かつどう

65 ページを あつ紙に はり、16 ま  
いに 切り分けてください。それを  
うらにして たいらな ところになら  
べてください。いちどに 2まいずつ  
じゅんぱんに うらがえし、ことばと  
絵が 合う カードを さがしてくだ  
さい。この ゲームを するとき、今  
せんきょうしに なるために できるこ  
とを 考えてみましょう。■

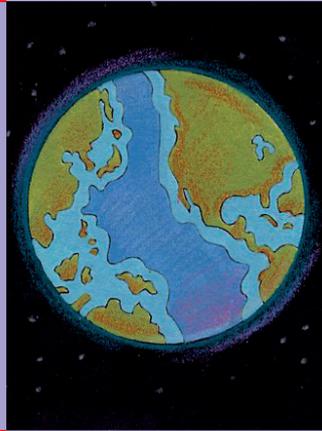
とも  
友だちを  
しょとうきょうかいに  
つれて 来る



せいぎを えらぶ



「この ふくいんは  
あらゆる  
こくみんに……  
のべつたえられる  
であろう。」



ちょうろう



しまいせんきょうし



バプテスマ



せいぶん



せんきょうし  
くんれん センター



「家では パンをさき、  
[かれらは] よろこびと、まごころとをもって、しよくじをともにし[た。]」  
(使徒2:46)

# ディナーゲーム

ルネ・ライディング

じつわを もとに 書かれました。

**ス** パイスの きいた おいしそうな スパゲティーソースの においが  
ただよう中、 ジョセフと その かぞくは 日曜日の 夕食の せ  
きに つきました。 お父さんの おいのりの 後、 ごちそうを  
回して みんなが 自分の おさらにとり分けました。

すると ジョセフが 「えいがの タイトルを 当てる ゲーム  
を しようよ」と 言い出しました。

それは、 しよくじ中に 行う ゲームで、 ジョセフは  
大すきでした。 りょうしんも ジルと ジュリアの  
二人の しまいも 楽しみに している ゲームでした。  
一人が、 前に かぞくで 見た えいがの 中で  
言われた せりふを 言って、 ほかの かぞくが そ  
の えいがの タイトルを 当てるのです。

「べつの ゲームを した 方が いいと 思うの。  
今日は 日曜日だから、 せいく 当てゲームを  
してみない?」と、 お母さんが ていあんしました。

「それって どういう ゲーム?」と、 ジョセフが  
聞きました。

「たとえば わたしが せいぶんから 一つの  
せいくを とり上げて だれの 言った ことばか  
しつもんするから、 あなたたちが それは だれかを  
当てるの」と お母さんが せつめいしてくれました。

「そんなの つまらなそう。 だいいち、 ぼく せいくなんて  
言われても 分からないもん」と ジョセフが 言いました。

「じゃあ、 わたしが さいしょに しつもんするわよ。 『わたしは  
行って、 しゅが めいじられたことを 行います』 と 言っ  
たのは だれでしょう」と、 ジルが  
もんだいを出しました。

ジュリアが いきおい よく  
手を あげて、「それは  
ニーファイよ」と  
答えました。



「そのとおりよ、ジュリア。つぎはあなたの番ね」と、ジルが言いました。

「そうねえ……そうだ、では、これはだれが言いましたか。『これはわたしのあいする子である。かれに聞きなさい。』」

こんどはお父さんが手をあげました。

「それは、天のお父さまがせいなる森でジョセフ・スミスにおっしゃったことばだね。」

「せいかい。つぎはお父さんよ」と、ジュリアが言いました。

ジョセフは少しせずじをのぼしながら、ゆっくりといすにすわりなおしました。

「こんどはすごくむずかしいのを出すよ。こんなのはどうだい。『わたしのたみをさらせなさい』とお父さんが言いました。」

ジョセフはさっと手をあげて、こう答えました。「それはモーセだよ。なあんだ、かんたんじゃないか。」

「大せいかいだ。さあ、つぎはジョセフの番だよ」と、お父さんが言いました。

手のひらにあごを当てて考えていたジョセフは、思わずにっこりとほほえみました。その日しょとうきょうかいのレッスンでモリスしまいが話してくれたことを思い出したからです。それは、イエスさまのでしたちが、イエスさまに近づこうとした子どもたちをちゅういしたときの話でした。「おきな子らをわたしのところに来るままにしておきなさい」とジョセフが言いました。

またジュリアが手をあげて、「それは、イエスさまがおっしゃったことばよ」と答えました。

「当たり前！」

ぜんいんがしよくじをおえるまでゲームはつづきました。

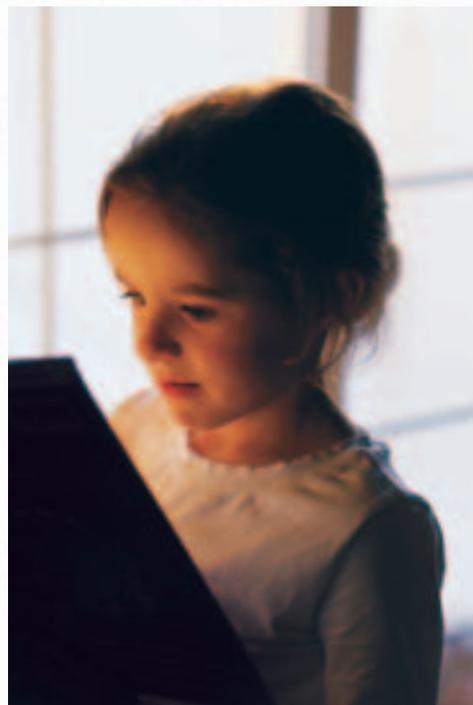
その夜、ジョセフをねかしつけるためにベッドのところにやって来たお母さんに、ジョセフはこう言いました。「あのゲーム、そんなにつまらなくもなかったね。」

するとお母さんが「今日、あなたが出したもんだいはとてもよかったわ」とほめてくれました。

「ありがとう。また来週の日曜日もあのゲームしない？」

「そうね、それはいい考えね。」お母さんは、そう言いながらジョセフをだきしめるとキスをして、へやを出て行きました。

ジョセフは、にっこりしながらベッドの中にもぐりこみました。あんそくにちに行くかぞくの新しいしゅうかんが生まれたのです。■



「せいぶんのなかとかれている教えになれし  
たしんでください。……それらを、まるで自分  
に話されているかのようによく考え、学んでくだ  
さい。じっさい、わたしたちに語られているからです。」

トーマス・S・モンソン大管長

「最高の自分になる」

『リアホナ』2009年5月号、67-68を見てください。

## せいく当て ゲームの すすめ方

このゲームは3とおりのすすめ方があります。

- ジョセフのかぞくがしたように、せいくのなかだれがそのことばを言ったかを当てます。
- とりあげたせいこのかしよを当てます。たとえば、「わたしは行って、しゅがめいじられたことを行います」というせいくは、ニーファイだい一書にあります。
- せいぶんのなまえをあげて、そのせいぶんにあるせいくや話を答えてもらいます。たとえば、エテル書と言ったら、ヤレドのたみが大海をわたった話がしるされていることを答えればせいかいといたぐあいです。



# 人にどのように 接するべきかを 教えられたイエス様



## サマリア人

サマリア人はヨルダン川の西に広がる地域に住んでいて、ユダヤの伝統を一部受けついでいました。かれらは、エホバを礼拝していましたが、いましめの一部を変えてしまいました。そうしたサマリア人に対してユダヤ人は自分たちの方がすぐれていると思っていたのです。

## ダイアン・L・マンガム

**ユ**ダヤ人とサマリア人は仲良くありませんでした。ユダヤ人は、サマリアに住む人々をきらい、自分たちがサマリア人よりもすぐれていると思っていたのです。そしてサマリア人を見ても決して話しかけようとせず、旅をするときもできるだけサマリアを通らずに旅をするようにしていました。

しかしイエス様は、自分が人にしてもらいたいと思うことを人にもするようにと教えられました。それはつまり、知らない人にも、あるいはサマリア人にも親切にしろという意味だったのでしょか。

イエス様は、隣人を愛するべきであると教えられました。隣人とは、近くに住む人や自分と同じような人だけを指して言われたのでしょか。イエス様は、ほかの人々にどう接すればよいかを人々が分かるように、一つの

たとえを使って話されました。

それは、一人のユダヤ人がエルサレムからエリコに続く道を旅しているときの話でした。そこは、険しいがけを登って行く危険な山道で、大きな岩のおかげから強盗がひんぱんに現れては、旅人の前に立ちはだかり、物をうばって行ったのです。

その旅人は強盗におそわれ、ひどいけがをしてしまいました。強盗は、旅人の衣服をはぎ取り、死にかけた旅人を道路のわきに置き去りにしたままにげてしまいました。

その道を旅していた一人の祭司が、



# ジェーコブを さそってみよう

チャド・E・ファレス  
じつわを もとに かかれました。

「あなたがたは  
かみに つかえたいと のぞむならば、  
その わざに めさされている。」  
きょうぎ せいやく  
(教義と聖約 4:3)



3. エリックと ジェーコブは きょうかいで とても たのしく  
すごしました。おいのりについて まなんだり わかちあいの  
じかんには うたを うたったりしました。エリックは ジェー  
コブを さそって よかったと おもいました。



4. つぎの しゅう、エリックは また ジェーコブを  
きょうかいに さそいました。



5.



6.



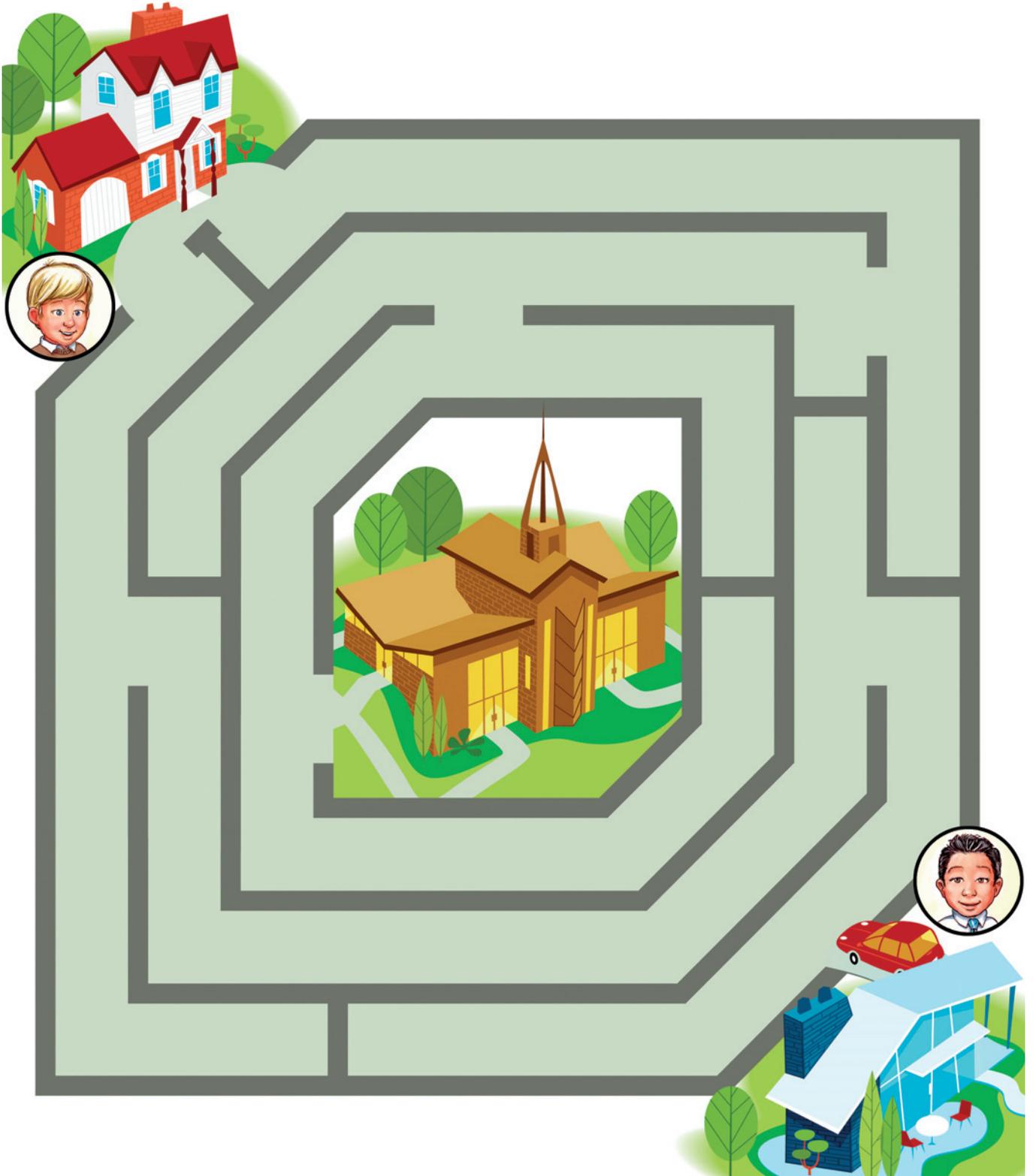
7.そこで エリックは つぎの しゅうに もういちど ジェーコブを  
きょうかいに さそってみました。



8.エリックは ジェーコブが また いっしょに きょう  
かいに いけたので とても うれしくなりました。  
きょうかいに いくか いかないかを きめるのは  
ジェーコブですが、その チャンスが あるように、  
いつでも ジェーコブを きょうかいに さそおうと  
エリックは こころに きめました。

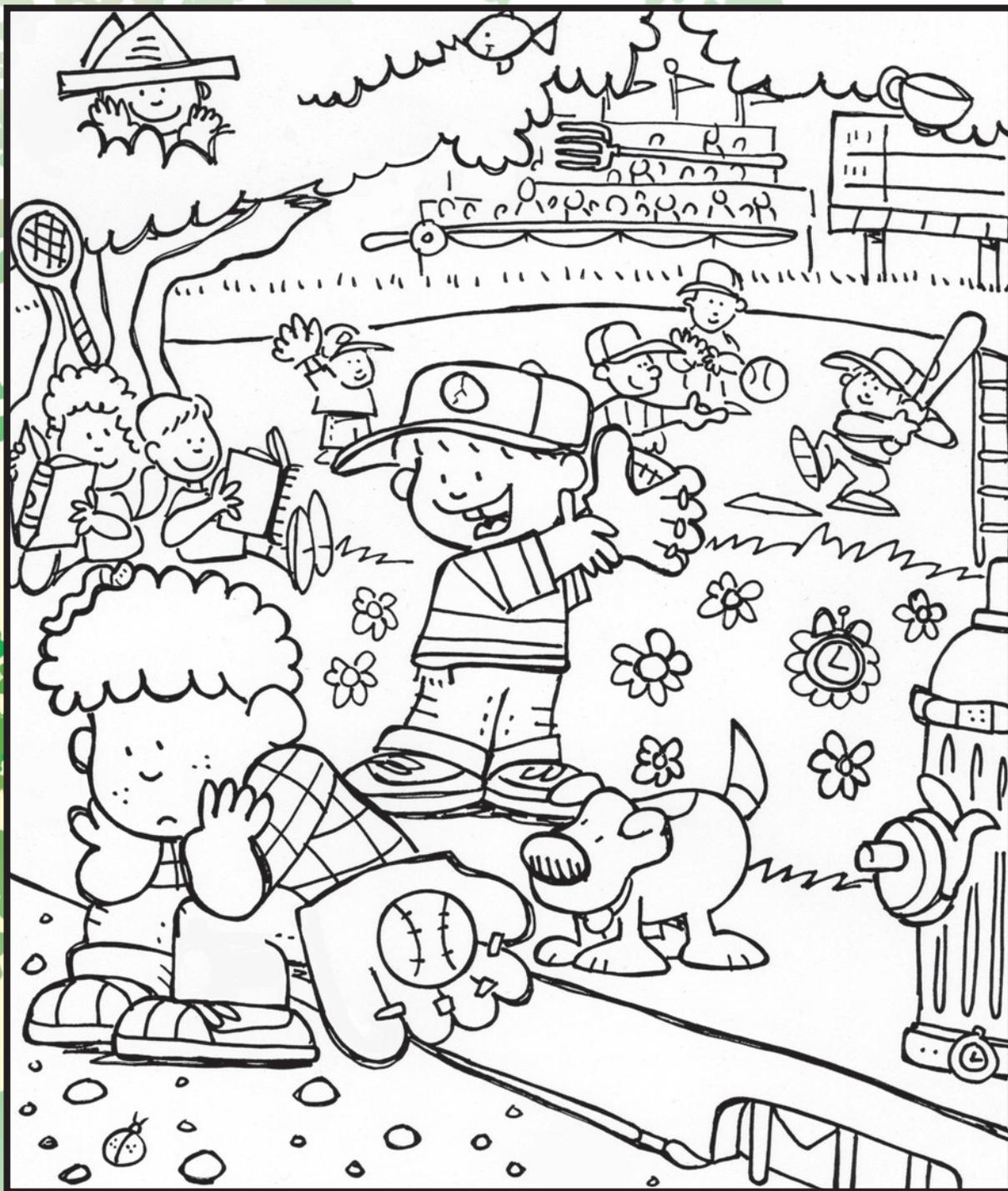
# きょうかいに いこう

**エ**リックと その かぞくは ジェーコブを むかえに いて っしょに きょうかいに いこうと しています。 エリックが ジェーコブの いえに よってから きょうかいに いけるように たすけて あげましょう。



# あたらしいともだちをつくる

バル・チャドウィック・バグレー



この えの おとこの こは みんなと あそぶ  
 とうと ひとりの こを さそっています。えの  
 なかから つぎの ものを さがし だして ください。  
 ばんそうこう、バナナ、とけい、くし、ひびのはいった

たまご、クレヨン、カップ、ふうとう、さかな、つりざお、  
 はしご、てんとうむし、えのくふで、くまで、テニスの  
 ラケット、うでどけい。

絵 バル・チャドウィック・バグレー

## あなたへの奉仕の呼びかけ

教会機関誌

ヘザー・ウィットル・リグリー

**末**日聖徒イエス・キリスト教会大管長会は、2011年中にすべての教会ユニットが奉仕の日の活動に取り組む、教会福祉計画 75 周年を記念するように求めてきた。

「奉仕は年内であればいつ実施してもかまいません。また、プロジェクトに充てる時間は奉仕の内容によって自由に決めることができます」と大管長会の手紙には記されている。

この奉仕の呼びかけは、4月の総大会土曜日午前の部会でヘンリー・B・アイリング管長の説教の締めくくりでなされたものである。

「一致の感情は、皆さんが行う奉仕の良い影響を倍増します。また、家族、教会、地域社会におけるそういった一致の感情は増大し、プロジェクトが終わった後も、長期にわたって永続する遺産となるでしょう」と大管長会第一顧問のアイリング管長は語った（「善を行う機会」『リアホナ』および *Ensign*, 2011年5月号, 25）。

大管長会は奉仕プロジェクトを計画している会員のためにガイドラインを示した。それによると地域社会の人と宣教師を招き一緒に活動に参加したり、個人や家族が参加できるように計画を立てることが示されている。プロジェクトを公表して、広く知ってもらい、関心を高めることも勧められている。

多くのワード、支部、地方部、ステークがすでにその呼びかけにこたえている。黄色いモルモン・ヘルピングハンズのTシャツを着て奉仕している人もいれば、ただ袖をまくって奉仕している人もいる。献血から公民館の清掃活動に至るまで、呼びかけにこたえる会員の姿には圧倒されるばかりである。

七十人会長会のウォルター・F・ゴンサレス長老は北アメリカ南東地域の教会業務を管理している。彼はまず2009年に地域の全会衆に奉仕の日に参加するようチャレンジした。

それ以来、毎年合衆国南部の会員は年に1度の奉仕の日に取り組んできた。ゴンサレス長老は、今年は世界中の教会員がその機会にあずかる姿を見られるので喜ばしいことだと語る。

「わたしたちが奉仕する理由は、奉仕の心構え、つまり

奉仕する習慣を培うことがキリストのような特性を身に付けることであり、少しでも主のようになる機会を得ることだからです。宗教、宗派、民族を越えて奉仕するとき、わたしたちが差し伸べる援助の手は結び合う手となって地域社会との連携を培うものとなっていきます。」

4月16日、アメリカ合衆国フロリダ州ジャクソンビルでは11の団体が奉仕への呼びかけにこたえ、食料を寄贈したり献血をしたりした。数か所の末日聖徒の集会場は、寄付された食料の集配基地あるいは採血場として利用された。

5月14日、アメリカ合衆国ジョージア州ジョーンズバロワードのチェーンソーを担いだ会員たちは、映画「風とともに去りぬ」の撮影場所となった伝説の地、ステートリーオークス・プランテーションに集まり、刈り込んだ枝を運び出した。

4月の最終週、アメリカ合衆国カリフォルニア州とハワイ州の聖徒たちは、年に1度のモルモン・ヘルピングハンズデーの教会ボランティアに参加した。

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴでは、150人のボランティアが退役軍人共同墓地となっているローズクランズ要塞記念公園にある3,000基の墓石の汚れを落としました。

アメリカ合衆国カリフォルニア州パロスバーデスの末日聖徒は、クリーンサンペドロという非営利団体と協力してサンペドロ中心街の道路や歩道を清掃し、1トン以上のごみを収集した。

クリーンサンペドロの管理者のステイーブ・クラインジャンは「この教会の会員と一緒に働くのが大好きです。彼らはいつもボランティアとして大勢で参加してくれます」と語る。

アメリカ合衆国ノースカロライナ州シャーロット南ステークの会員たちは大管長会の2011年の奉仕の日の呼びかけにこたえ、地域の慈善団体と協力して転入者を歓迎する品物を車で収集した。

2,000枚以上の紙袋が地域住民に配られた。袋の中には、必要とされる品物のリストが入っていた。1週間後、およそ130人のボランティアが150時間かけて袋を回収し、ホームレス状態から抜け出して新しい住まいで生活を始めるようとしている家族に寄付した。



注——教会福祉部は大管長会の呼びかけにこたえて2011年奉仕の日に参加した会員の体験談を募集しています。経験を分かち合っただけの方は、[providentliving.org](http://providentliving.org) にアクセスし、**75 Years of Self-Reliance and Service (自立と奉仕の75周年を祝う)** をクリックし、次に左余白にある**Day of Service (奉仕の日)** をクリックし、続いて「Share your Service Activity (あなたの奉仕活動を分かち合う)」の下にある **share (分かち合う)** ボタンを押してください。



ワードの初等協会の子供たちはその家族に「おかえりなさい」と書かれた看板を作成した。

アメリカ合衆国ジョージア州のグリフィンワードでは、5月21日土曜日に集まり地元のホームレス収容施設「希望の家」の内部と外部の清掃をした。

アメリカ合衆国ミズーリ州クリントンでは、末日聖徒が集まりジャクソン動物園の環境整備を行い、花壇の根覆い、塗装、設備の修理などを行った。

ゴンサレス長老は会員の奉仕は教会内外の人たちに恩恵をもたらすものであることを強調した。

「奉仕し、社会とのつながりを生み出す方法は多種多様です。そして人々に仕えるうちに、わたしたち会員の生活に主の御手<sup>みで</sup>を見ることができるようになります」と長老は語る。■

アメリカ合衆国  
カリフォルニア州の会員が  
街を清掃する。

## 神権回復の 跡地を復元する教会

**大**管長会はアメリカ合衆国ペンシルベニア州ハーモニー（現サスケハナ近郊）として昔から知られている史跡を復元する計画を発表した。そこはジョセフ・スミスがモルモン書の大半を翻訳した場所であり、1829年にバプテスマのヨハネがアロン神権を回復した場所でもある。

その計画にはハーモニーの歴史的建造物と農場の建設、1829年のアロン神権とメルキゼデク神権の回復を記念する記念碑の設置が含まれている。鋳入れ式は2012年に行われる予定で、完成までには2年を要する。

ペンシルベニア州ハーモニーは1827年から1830年までにジョセフ・スミスがモルモン書の大半を翻訳した場所であった。そこで預言者は教義と聖約に載っている初めの15の啓示を受けた。

ジョセフ・スミス—歴史1:66-75に記されているように、1829年その同じ場所でジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはバプテスマのヨハネからアロン神権を授かった。程なくしてそ

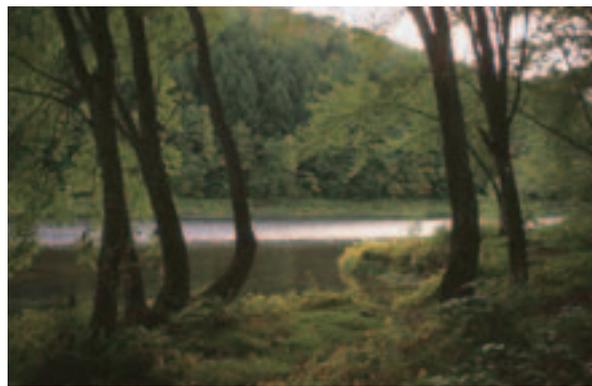
の近くの場所でペテロ、ヤコブ、ヨハネによってメルキゼデク神権が授けられた。

教会歴史部の史跡班最高研究員のマーク・ステーカーは、歴史部ではすでに考古学的な調査を始め、その地域にあった昔の建物の位置を特定していると言っている。

「わたしたちはジョセフとエマがハーモニーで暮らしていた家もエマ・スミスや彼女の家族の生家も復元しようと考えています」と彼は語る。

預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリがアロン神権を授かっている彫刻はその36ヘクタールの敷地にすでに据えられている。新しい記念碑の計画は現在設計段階にある。またそこには訪問者センターが建設される予定である。

教会指導者は興味のある会員がそのプロジェクトに1度だけ小額を献金するように勧めている。これはビショップや支部会長からもらう<sup>じゅうぶん</sup> 什分の一献金用紙の「その他」の項目に「神権回復跡地」と記入して献金することができる。■



ペンシルベニア州の36ヘクタールの土地は神権の回復とモルモン書の翻訳を記念するために復元作業が行われている。

### 世界各地の教会歴史を保持

教会には歴史家、建築家、考古学者、弁護士、熟練工、建築業者、整備員と協力して教会周辺の歴史的に重要な施設の維持管理を行っている部署がある。こういった施設は3つの種類に分類される。

歴史的地所は教会歴史に重要な出来事があった場所で、ジョセフ・スミスの農場や歴史に残るカートランドなどが該当する。合衆国内に24か所ほど点在し、合衆国外には1か所、イングランドにおける末日聖徒イエス・キリスト教会の最初の教会堂であるウースターシャーズ・ガッドフィールド・エルム・チャペルがそれに該当する。

建築学的あるいは美的価値の高い神殿、タバナクル、集会場などの歴史的建造物はおよそ50か所が該当する。

すべての重要な場所が復元されるわけではないが、最後に挙げるのは、歴史的記念碑である。該当するものは100以上あり、教会が末日聖徒の心と記憶にとどめておきたい場所を示している。歴史的記念碑は地域も指し示しており、十分な情報がないため正確にその場所を復元できない所（たとえばファーウェストの神殿用地など）も含んでいる。国外に歴史的記念碑は数十か所ある。

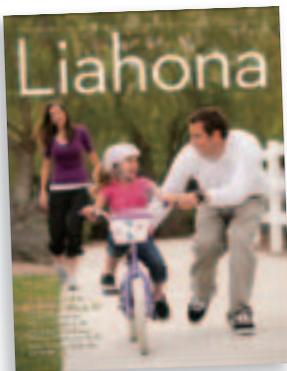
## オンラインでも提供する『リアホナ』

教会は英語以外の言語に翻訳された資料に今まで以上に容易にオンラインアクセスできるよう現在作業を進めている。中でも最もよく知られている教会国際機関誌『リアホナ』がその対象になっている。

2011年の終わりまでに『リアホナ』各月号が特定の言語に印刷され、教会員がオンラインでアクセスすれば、全ページPDFファイルで閲覧でき、さらに各コーナーは文字だけのファイルでも閲覧できるようにするのが目標である。このサービスが適用されるのは2011年4月以降の機関誌に限られる。

さらに教会は、大管長会メッセージと家庭訪問メッセージをオンラインによって80の言語で定期的に発行できるように作業を進めている。これらのメッセージはこれまで『リアホナ』に掲載されるか『リアホナ』がまだその地域の言語に翻訳できない場合には別個のものとして発行されてきた。

2011年6月号から、『リアホナ』に印刷されるすべての資料がスペイン語とポルトガル語で録音され音声版としてオンラインで発信されている。さ



らに2011年の初めの4号分はさかのぼって録音された。ほかの言語による『リアホナ』音声版は近いうちに発信される。

総大会の翻訳資料もまたオンラインで閲覧できる量を増している。2011年4月の総大会説教は92の言語に翻訳された。すべての音声版はconference.lds.orgにアクセスすれば聴くことができる。『リアホナ』はそのうち33の言語に印刷されている。これらの活字版はliahona.lds.orgにアクセスすれば、『リアホナ』2011年5月号の内容から閲覧できる。

1990年から現在までの総大会資料を25の言語でオンラインで掲載するプロジェクトも現在進められている。これらの25の言語の場合、1990年以降の総大会のある部会が教会機関誌に掲載されているならば、そのページはスキャナーで読み取られ、PDFかHTMLの形式でオンライン上で入手できるようになる。

## 100の言語で公表されている教会ロゴ

教会ロゴは最近、ボスニア語、マケドニア語、モンテネグロ語、ペルシャ語、チルバ語、ヤップ語で公表された。これらを加えると、教会のロゴは現在までに100以上の言語で発表されていることになる。

このプロジェクトの始まりは1995年12月である。当時ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）の指示の下、教会の新しいロゴが採

用されることになった。そのロゴは救い主の名前が教会の公式名で最も注目されるようにデザインされ、翻訳され、以来様々な言語で活字に組み込まれた。

教会の名称とロゴは重要なマークであり、またトレードマークとして登録された、あるいは世界的に保護されたものであるため、教会はその名称とロゴをふさわしく使用するためのガイドラインを設定した。

地元のユニットは以下のすべての条件を満たしている場合に、(ロゴではなく)教会の名称を書面で使用してもよい。

- その名前が関係する活動や機関が公式にそのユニット主催のもの。たとえば聖餐会せいさんのプログラムがそうである。
- 地元ユニットの名称が教会の名前の後に使用される場合。
- その書体は公式の教会ロゴに似せていない。

教会の公式ロゴは教会本部のコピーレーション部で認められたものだけに使用される。それは以下のようなものである。

- 公式の教会出版物と文房具
- 宣教師のネームタグ
- 集会場の外看板

ロゴは装飾品あるいはコンピューターのスクリーンセーバーなどに使用することはできない。またいかなる個人、商用、勧誘にも使用することができない。■

### 世界中の会員がアクセスできる 教会ストア

store.lds.orgに3つの言語が加わったため、非常に多くの会員にとって教会資料へのアクセスがさらに容易なものとなった。ldscatalog.comに代わるウェブサイトは当初は英語、ロシア語、スペイン語で設置されたが、現在はフランス語、ドイツ語、イタリア語も利用できるようになった。

福音の資料（学習支援教材、音楽、メディア、美術、ガーメント、神殿着、その他の資料）はサイトにアクセスできる所であれば送料がかからない。

store.lds.orgを近い将来、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語で利用可能にする計画が現在進められている。

### 福音ライブラリーアプリ 最新版リリース

教会はmobile.lds.orgでAndroid（アンドロイド）、iPad（アイパッド）、iPhone（アイフォン）で使用できるGospel Library（福音ライブラリー）アプリの最新版をリリースした。

以前のAndroid（アンドロイド）アプリは提供できる主要な出版物はわずかしかなかったのに対し、最新版は教会機関誌、手引きをはじめ様々な書物にアクセスできるようになっている。

iPad（アイパッド）、iPhone（アイフォン）向けに作られた最新版アプリでは、携帯アプリやLDS.orgのMy Study Notebook（わたしの学習帳）上で自分が加えた同じメモをどちらからも見ることができる。つまり、自分が書いたメモや自分が付けたハイライト（蛍光ペン）や付箋を、パソコンからでも携帯からでも見られるようになるのである。■



ジョージア州アトランタ神殿

### フィリピンで教会設立 50 周年を祝う会員たち

フィリピンでの伝道 50 周年を記念するため、数千人の聖徒がケソン・シティーに集まり、4月30日の祝賀文化行事と5月1日の地域大会に参加した。

土曜日には19のステーキが集い、歌と踊りによってフィリピンの豊かな文化的遺産と教会の成長を祝った。5月8日の日曜日には会員は衛星中継で地元指導者と中央幹部による全国規模の大会に集った。

### 12の地域で援助を提供するUSNS コンフォート

4月、病院船「USNS コンフォート」はカリブ海、中央アメリカ、南アメリカの12の地域に向けて出航し、医療貢献と医療業務の訓練を行う。

教会からのボランティア、合衆国海軍、そのほかの救援団体が人道支援活動を行うとともに、船が去った後もそこに住む人々が自分たちで救援活動を行えるように技術を教える。

### 祝賀行事と再奉献式を行い再開する アトランタ神殿

文化的祝賀行事と、日曜日に行われたトーマス・S・モンソン大管長による2度の再奉献のセッションの後、2011年3月3日からジョージア州アトランタ神殿が正式に神殿業務を再開した。モンソン大管長のほかに、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老、七十人のウォルター・F・ゴンサレス長老とウィリアム・R・ワーカー長老も再奉献式に参加した。

1983年に奉献されたこの神殿は2009年6月1日に全面的改装工事のために閉館した。■

### 新たな言語で発行される旧約聖書 DVD

旧約聖書視聴覚資料 DVD は現在 11 の言語に翻訳されているが、近い将来さらに 10 の言語で翻訳される。

現在利用できるのは、アメリカ手話、広東語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、標準中国語、ポルトガル語、サモア語、スペイン語、ウクライナ語の各言語である。年末までにはデンマーク語、オランダ語、フィンランド語、インドネシア語、ノルウェー語、ロシア語、スウェーデン語、タガログ語、タイ語、トンガ語で利用できるようになる。

3 本セットの DVD は旧約聖書の学習を通じて会員を導くための 300 以上の視覚資料と 54 のビデオが収められており、教会配送センターを通じて、または、store.lds.org にアクセスして購入することができる。

### サモア語の合本が出版される

モルモン書、教義と聖約、高価な真珠、聖句ガイド、学習資料を合わせたサモア語版の聖典合本が配送センターを通じて、または、store.lds.org にアクセスして購入することができる。■

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

#### 「困難なときに平安を見いだす」

12 ページ —— 記事を読む前に、家族が直面している幾つかの特別なチャレンジを挙げてもらうとよいでしょう。その後でマーム長老の提案を使って困難なときに平安を見いだす方法話し合しましょう。



#### 「結び固めの儀式 家族を永遠につなぐ」

16 ページ —— 記事を読む前に、家族で「約束」という言葉にはどのような意味があるのか話し合しましょう。教義と聖約 82:10 を読んで主と約束を交わして守ることがなぜそれほど重要なのか話し合ってください。記事を一緒に読むときに、聖約を守ることによってどのように生活が祝福されたのか証を述べてください。

#### 「お父さんと取り組む『神への務め』」

54 ページ —— この記事から導きを受けたら、たとえ 10 代の子供がいなくても、『神への務め』あるいは『成長するわたし』から活動の一つを選んで実行してもよいでしょう（資料は DutyToGod.lds.org と PersonalProgress.lds.org から入手できます）。もしすでに始めている 10 代の子供がいるならば、父親は娘と、母親は息子と取り組むのもよいでしょう。

#### 「ふくいんは ぜんせかいに のべつたえられます」

64 ページ —— 幼い子供たちのために記憶ゲームをして、「われらは天の王に」（『賛美歌』157 番）を歌ってもよいでしょう。家族の宣教師計画を発展させ、ある家族を教会の活動に招待したり、あなたが集うワードから伝道に出ている宣教師に手紙を書いたりしましょう。

## 読者からの便り

### 計り知れない祝福

わたしたちの住んでいる市には教会の支部がありません。ですからほかの会員と連絡も取らずに 1 週間を過ごすことが多いのですが、それは大変なことです。『リアホナ』の記事やお話を読むと、まるでそれを書いた人が個人的に自分たちに話しかけているように感じます。自分の家において預言者の言葉を読むことは計り知れない祝福です。このようにして、集会所までは物理的に遠くてもわたしたちは教会と強く結ばれていると感じています。

ファビオ・アンドレ・ハブ (ブラジル)

### 強さと信仰を築いてくれた助言

毎月わたしの心の琴線に触れるメッセージを掲載してくれる教会機関誌のすばらしい祝福に感謝してい

ます。十二使徒定員会の会員から頂く助言によってわたしは強められ、霊が信仰で満たされます。

ドリス・カントール (ホンジュラス)

### 答えを得るための経路

わたしの目標の一つは毎月『リアホナ』を読むことです。この機関誌はどの部分もわたしがよりイエス・キリストに似た者となれるよう助けてくれます。それは主がわたしの祈りにこたえてくださる経路の一つなのです。

ギルベルト・ジュニア・デ・パウラ・ロドリゲス (ブラジル)

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org にお送りください。掲載されるお手紙は、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

## 今も永遠にも続く 神殿の祝福

ステーシー・ビッカリー

**わ**たしはとても幼いころから神殿の絵を見て育ちました。小さいころは神殿の祝福の意味が分かりませんでした。いつか神殿に入りたいという思いがありました。若い女性の年ごろになると、神殿に参入することによって受ける祝福について理解できるようになりました。当時わたしの家族は教会を休みがちだったので、永遠の家族として結び固めを受けることができるようにとわたしは毎日お祈りしていました。

1993年の秋、わたしの18歳の誕生日の2週間前に、わたしたち家族は神殿に参入しました。ユタ州のプロボ神殿で両親や兄弟と永遠の家族の結び固めの儀式を受けたときの気持ちを今でもよく覚えています。その日神殿を去るときに、自分は神殿の祝福をよく理解できるようになったと思いました。

それから2年後に当たる1995年の夏に、婚約したわたしは神殿に参入して、自分自身のエンダウメントを受けました。神殿のもう一つの祝福を受けることができるなんて、何とすばらしいことでしょう。それから3日後に、同じくユタ州にあるマントイ神殿で夫と永遠に結び固められました。夫と永遠の家族になるという、それまで経験したことのないもう一つの祝福にあずかることができました。そのときも、自分はこれで神殿で頂くすべての祝福を受けることができました。と思いました。

それから6年して、わたしは妊娠して、新しい家族を迎えることになりました。息子を育て、福音を教えられることに、わたしたちは胸を躍らせていました。ところが、妊娠24週目に子供は大変な苦難を背負ってこの世に生を受け、それから8週間後に天の御父のもとに帰って行きま



神殿の祝福が  
必要になれば  
なるほど、  
わたしはその  
祝福の意義が  
よく分かるよう  
になりました。

した。息子を最後に抱いたとき、もう一つ神殿のすばらしい祝福があることに気づきました。それは、息子は聖約の下に生まれたので、永遠にわたしたち家族の一員であるということです。

息子を亡くしてから1年半が過ぎたころ、わたしたちは末日聖徒ファミリーサービスから1本の電話を受け、ある若い女性が産んだ子供の里親になってくれませんかと言われました。わたしは二度と妊娠できないと言われていましたので、これほどうれしいことはありませんでした。

預かった女の子が6か月になったとき、その子を養女に迎える手続きが完了して、神殿で家族の結び固めをしました。それから4年後、別の若い女性から託された幼いかわいい男の子を我が家に迎え入れました。再びわたしたちは生後6か月のその子を神殿に連れて行き、家族の結び固めの祝福を受けられました。子供が白い衣に包まれて、神殿で夫とわたしの子供として永遠に結び固められたときに感じた感動を決して忘れることはできません。

自分が若い女性であったときも、夫と結び固められたときも、我が子を失ったときでさえも、わたしは神殿からもたらされる祝福を十分には理解していなかったことに気づきました。わたしは以前に比べるとたくさんの祝福に気づくようになりましたが、今わたしが理解していることは、神殿が現世だけでなく永遠の世にあっても**永続的な**祝福を得られる場所であるということです。中には今日容易に気づく祝福もあるかもしれませんが、いつの日かわたしたちが永遠の住まいにたどり着けるよう、導きとなり、証を強め、助けとなる祝福もあります。

神殿は、平安と安らぎ、喜びと新しい何かを見いだすところでもあります。わたしは以前にも増して神殿に感謝しています。そして神殿に参入する度に、さらに多くのことを学び、神殿の祝福をより深く理解できるようにと祈っています。■



### 「カートランドの回想」 アル・ラウンズ画

1836年4月3日、復活祭の日曜日に、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリが奉獻されたばかりのカートランド神殿の説教壇の所に退き、ひざまずいて祈りました。すると、イエス・キリストが現れて言われました。

「わたしは最初であり、最後である。わたしは生きて  
いる者であり、殺された者である。わたしは父に対する  
あなたがたの弁護者である。

見よ、あなたがたの罪は赦ゆるされており、あなたがたは  
わたしの前に清い。それゆえ、頭を上げて喜びなさい。

あなたがたの兄弟たちの心を喜ばせ、わたしのすべ  
ての民の心を喜ばせなさい。彼らは力を尽くしてわた  
しの名のためにこの家を建てた人々である。

見よ、わたしはこの家を受け入れた。そして、わたし  
の名はここにあるであろう。わたしは憐れみをもってこ  
の家でわたしの民にわたし自身を現すであろう。……

そして、この家の名声は諸外国に広まるであろう。  
これはわたしの民の頭こうべに注がれる祝福の初めである。  
まことにそのとおりである。アーメン。」(教義と聖約  
110:4-7, 10)



十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老はこう教えている。「日の栄えの結婚の律法にかなった生活を送るなら、<sup>はんりよ</sup>伴侶とともに、そして家族とともに地上に小さな天国を築くことができます。そしてそれらの律法に従って生活するとき、わたしたちは天と同じ律法に従っています。」「地上の小さな天国」22 ページ参照。

JAPANESE



4 02096 89300 7

09699 300